



セキュアファイル交換サービス 「クリプト便」のご紹介

2026年4月版

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

ファイルセキュリティ事業部

会社概要



NRIセキュアテクノロジーズは野村総合研究所を母体とする
企業情報セキュリティのリーディングカンパニーです

社名	NRIセキュアテクノロジーズ株式会社（略称：NRIセキュア）
事業内容	企業の情報セキュリティに関するソリューションの開発・提供
設立年月日	2000年8月1日 ※サービス提供開始：1995年
資本金	4.5億円
株主	株式会社野村総合研究所
代表取締役社長	池田 泰徳
社員数	連結：775名、単体：652名 （2025年4月1日現在）
拠点	東京（本社）、横浜、関西（支店）、アメリカ合衆国（北米支社）
グループ会社	株式会社ユービーセキュア、株式会社NDIAS
認証取得	ISO/IEC 27001認証取得  IS 75215 / ISO 27001

セキュリティコンサルティング

国内サイバーセキュリティ
コンサルティングサービス市場

ベンダー別
売上
No.1

**3年連続
シェアNo.1**

ITR Market View2019

セキュリティ監視・SOC

ジャパン
マネージドセキュリティサービス

プロバイダー
オブサイヤー

4年連続受賞

2020フロスト&サリバン
ベストプラクティスアワード

セキュリティ診断

国内Webアプリケーション
脆弱性検査ツール市場

市場シェア
No.1

**5年連続
シェアNo.1**

富士キメラ総研2019年度調査

セキュリティソリューション

統合IAMソリューション
「Uni-ID Libra」
IDM/IAM市場

市場シェア
No.1

**3年連続
シェアNo.1**

ITR Market View2021

サービス・提供体制

社会やニーズの変化、技術動向に応じたサービス・製品を4つのコア事業で提供

研究開発

研究開発センター



先進技術の探索・評価、およびサービス開発の推進・統括

4コア事業

コンサルティング



顧客密着型の問題解決支援

DXセキュリティ



デジタルトランスフォーメーション
をセキュリティで支援

マネージド セキュリティサービス



24時間365日の
セキュリティ監視サービス

ソフトウェア



日本市場に合わせた自社開発
のセキュリティソリューション

企業のセキュリティ対策をトータルで支援する

5つのサービスカテゴリ

コンサルティング

セキュリティ診断

SOC・マネージド
セキュリティサービス

セキュリティ
製品・ソリューション

セキュリティ
教育・研修

クリプト便 概要

クリプト便とは

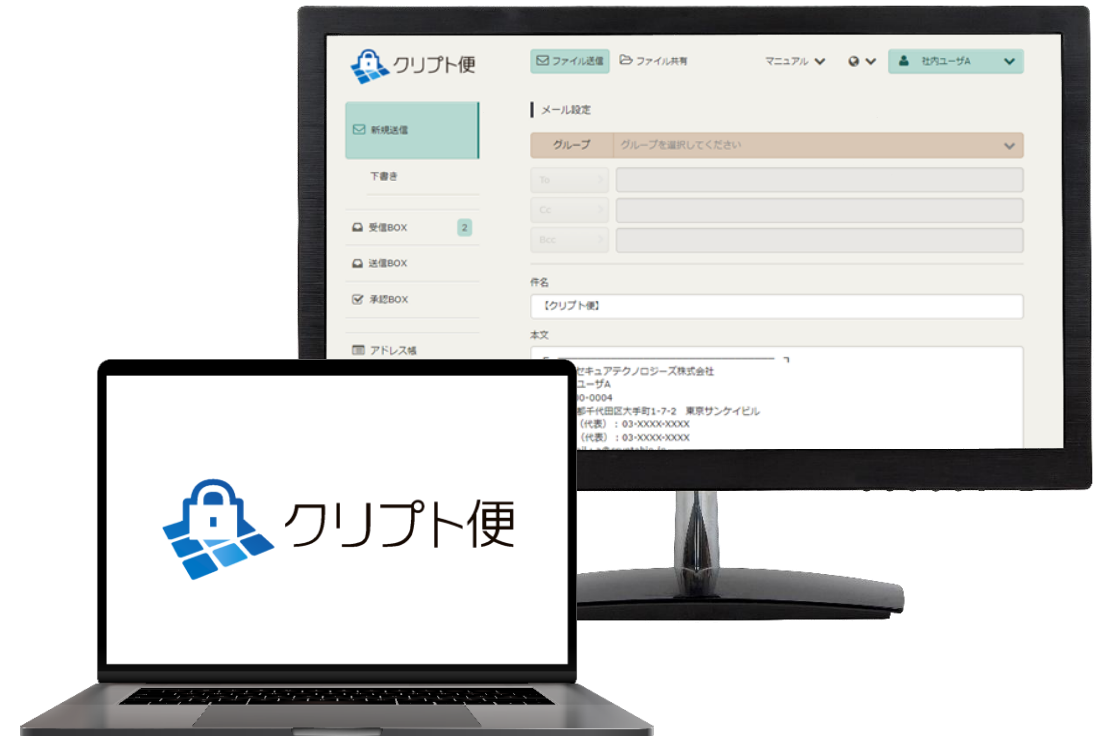
機密情報の受け渡しに特化したファイル交換サービスです。

20年以上の実績があり、公的機関や金融機関をはじめ様々な企業・団体で利用されています。

✓ 機密情報の受け渡しに特化した
安全・確実なファイル交換サービス

✓ メールライクな**ファイル送受信** ストレージライクな**ファイル共有**
ケースに応じた使い分けが可能

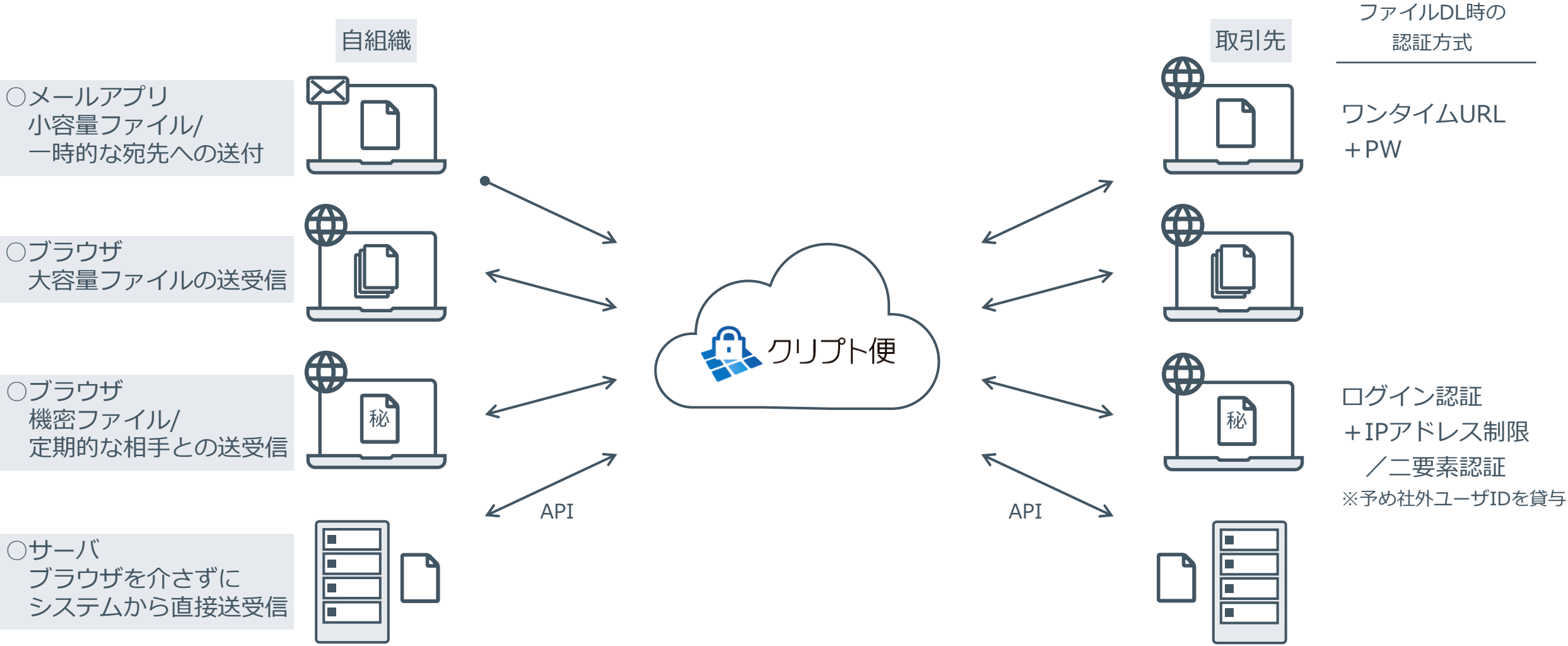
✓ ユーザー間ファイル転送市場
ベンダー別売上シェア
14年連続No.1※



※出典：
株式会社アイ・ティ・アール
「ITR Market View：コラボレーション／ナレッジ共有市場2025」
ユーザー間ファイル転送市場 売上金額シェア(2011-2024年度)

機密・大容量ファイルの送付、メール・API連携など幅広い用途で利用可能

クリプト便は、大容量・機密データ送付にも対応し、クラウド型で安全なファイル授受を実現します。
セキュリティをコンセプトとした、幅広い業務をカバーできるファイル授受のプラットフォームです。



導入実績

金融系企業を中心とした豊富な実績。業種・規模を問わず、多くの企業様にご利用いただいています。

※ ロゴ掲載順：順不同

金融・保険・カード・決済



製造・電気・科学



流通・商社



広告・不動産・食品・行政・建設・印刷



情報・通信・サービス



選ばれる理由

選ばれる理由

他社製品との比較において、以下3点を特にご評価いただいております。

選ばれる理由 1

人的リスクを 最小化する機能設計



暗号化やウイルスチェック等の**セキュリティ技術**だけでは回避し切れない**誤操作や悪意のある持ち出し等を防止・対策**する機能が充実。

交換相手や保存期間の制限、事前承認、送信取り消し、詳細ログ確認などを人的リスクを低減する機能を多く持ったツールです。

選ばれる理由 2

誰にでも使いやすいUI



シンプルかつ直観的なUIで「**誰にでも使いやすい**」「**業務フローを大きく変えずに使える**」といったお声をいただくことが多く、操作性も高く評価いただいています。

選ばれる理由 3

堅牢な セキュリティ環境



情報セキュリティ専門会社としての技術・ノウハウを用い、暗号化、セキュリティ診断、多段ファイアウォールなど**堅牢なセキュリティ対策を実現**。多くの金融機関に選ばれてきた実績があり、安心して選択いただいております。

ファイル交換に潜む人的リスクの例

セキュリティ事故の原因の上位を占める誤送信等の人的要因。ファイル交換の手段ごとに様々なリスクが潜んでいます。

ファイル交換サービス

セキュリティ判断の属人化



✕ 個人の判断で重要情報を社外に送付してしまった

✕ 詳細なログ取得ができず、監査が行き届かない

✕ 悪意あるファイル送信により、情報漏洩が起きてしまった

オンラインストレージ

ファイル残存・誤操作



✕ 社外ユーザへの共有が手軽にできてしまい統制しきれない

✕ ファイルが共有スペースに残り続け、重要情報のリスク管理が行き届かない

✕ 機能が多すぎてユーザの理解が追いつかず、誤操作が発生

メール

宛先誤入力



✕ 誤った宛先への送信を防ぎきれない

✕ 各社員のファイル交換を監視しきれない

物理媒体

紛失・破損



✕ 紛失や破損を防ぎきれない

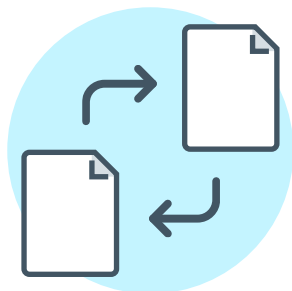
✕ データの持ち出しや改ざんを監視しきれない

人的リスクを最小化する4つの特長

機能の制限、使い方の制限、フローの厳格化、監査の強化などによって、人に起因するリスクを最小化します。

①

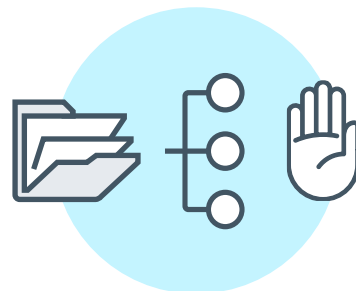
ファイル交換に特化した シンプルな設計



周辺機能をあえて備えず、ユーザの利用ケース・利用方法を制限。**想定されるリスク発生パターンを限定**でき、目が行き届くセキュリティ管理を行えます。

②

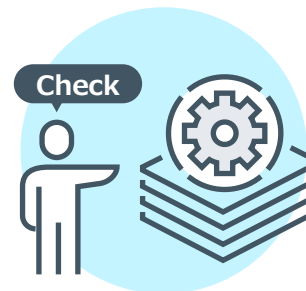
ファイルの保存期間・ 送信先などの制限



保存期間に上限が設定されているほか、送信できるファイルの拡張子指定、登録アドレス以外への送信制限も可能。**重要ファイルの残存や誤送信によるリスクを最小化**します。

③

承認機能・権限設定で ミスや持ち出しを予防



事前承認、事後承認、上長による送信キャンセル、ユーザごとの権限絞り込みなど、仕組みによって**誤操作や悪意ある持ち出しなどのリスクを抑制**します。

④

管理機能の充実



「いつ・誰が・どこに・何を送受信したのか」について原本ファイルを含めたログを取得可能。管理者の操作ログまで取得でき、**厳格な定期チェック・監査**を行えます。

※本スライドはオプション機能で実現できる内容を含んでおります

シンプルな画面と操作性

様々な方にご利用いただくからこそ、シンプルでわかりやすい画面と操作性を追求。誤操作が起こりにくい仕様です。

送受信メニューの選択

送信・共有の切替

利用グループの選択

クリプト便

新規送信

下書き

受信BOX 2

送信BOX

承認BOX

アドレス帳

メール設定

グループ

グループを選択してください

To

Cc

Bcc

件名

【クリプト便】

本文

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
社内ユーザA
〒100-0004
東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンゲイビル
TEL（代表）：03-XXXX-XXXX
FAX（代表）：03-XXXX-XXXX
E-Mail：a@cryptobin.jp

下書き保存

件名・メッセージの入力

送信先の選択

ファイルの添付

暗号ファイル設定

ファイル

ファイルをここにドロップ
もしくは、クリックしてファイルを選択

サイズ上限:4096MB

テキスト

お預かり期限 2022/3/29

パスワード

パスワードなし

ファイルパスワード

パスワードを表示する

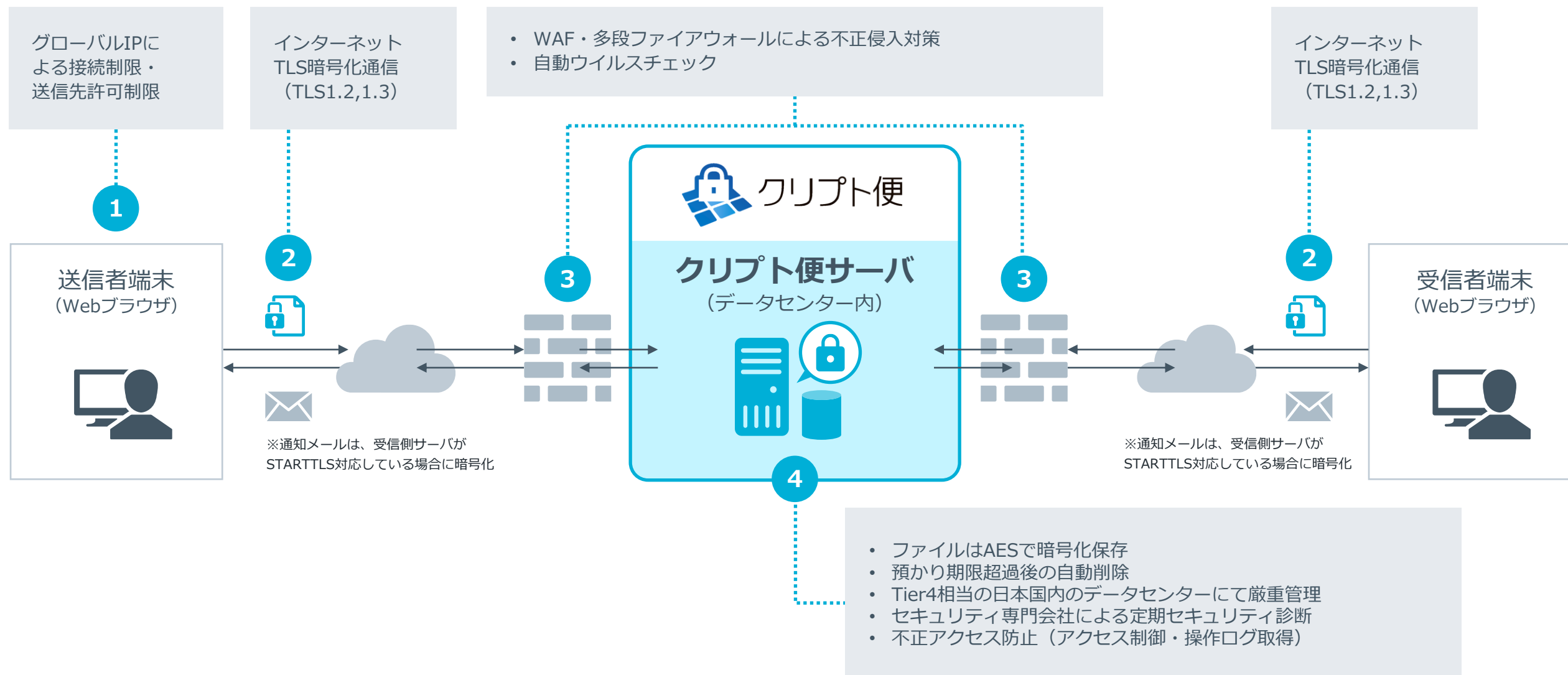
パスワードにヒントをつける

内容確認

パスワードの設定

高度なセキュリティ対策

クリプト便は情報セキュリティベンダーならではの高度なセキュリティ対策を実施。安心してご利用いただけます。



第三者機関によるセキュリティ性能評価

情報セキュリティ専門企業だから実現できる堅牢なセキュリティ。第三者機関からも高い評価を得ています。

→ ISO/IEC 27001

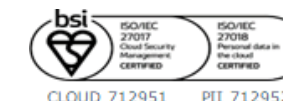
NRIセキュアは、ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の国際規格であるISO/IEC 27001認証を全社で取得。クリプト便においても、規格にのっとった、厳格なセキュリティマネジメントを実施しています。



→ ISO/IEC 27017 ISO/IEC 27018

クリプト便は、クラウドサービスプロバイダとしてクラウドサービスの情報セキュリティ管理に関する国際規格「ISO/IEC 27017」、および、クラウドサービスの個人情報管理に関する国際規格「ISO/IEC 27018」の認証※を取得しています。

※ クラウドサービスに関する国際規格であるISO/IEC 27017に基づくISMSクラウドセキュリティ認証(JIP-ISMS517-1.0)、およびISO/IEC 27018に基づくプライベート認証を取得。



→ 情報セキュリティ格付け最高位「AAais」

クリプト便の運用業務に対して、日本セキュリティ格付機構より、13年間連続で情報セキュリティ格付け最高位※の「AAais」を付与されています。

※ 2024年1月現在サービス最高レベルの格付け



→ PCI DSS

クリプト便は、サービスプロバイダーとしてPCI DSS※に準拠したことを示す認証を取得。従来、電子記録媒体の郵送やFAXなどで社外とやり取りしていたクレジットカード番号を含む重要情報も、クリプト便で取り扱うことが可能です。

※ PCI DSS : Payment Card Industry Data Security Standardsの略称。クレジットカード情報の漏えいを防止するために、策定されたクレジットカード業界における国際的なセキュリティ基準。



→ ISMAPサービスリスト

クリプト便は、2023年12月25日に「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（以下「ISMAP（Information system Security Management and Assessment Program : イスマップ）」）において安全性の高さが認定され、ISMAPクラウドサービスリストに登録されました。

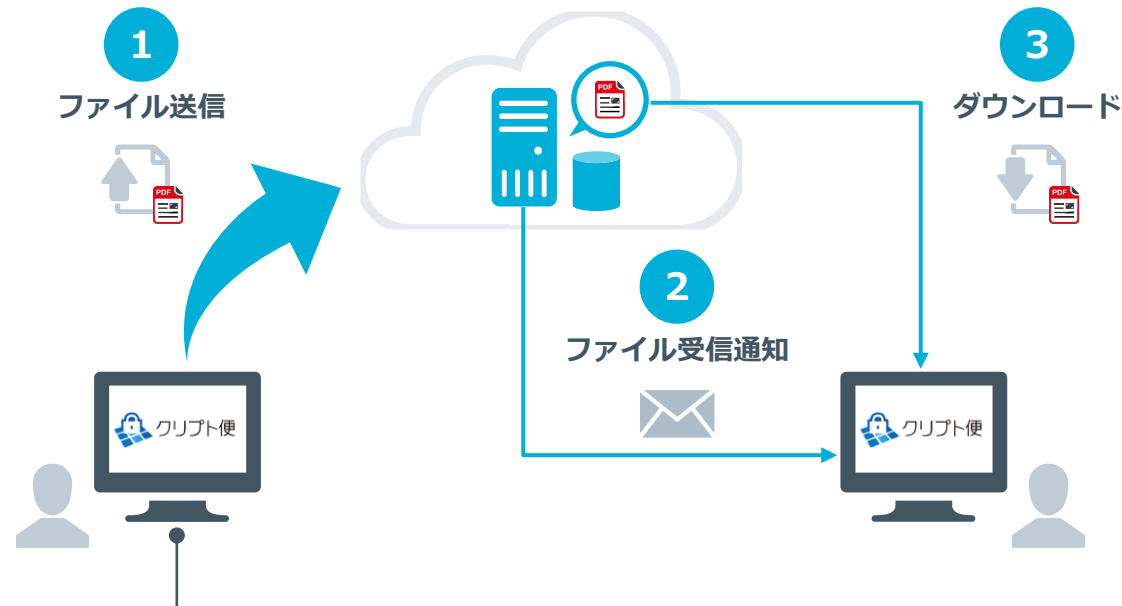
機能紹介

クリプト便の2つの基本機能

クリプト便には大きく分けて「ファイル送受信」「ファイル共有」の2つの機能があります。

ファイル送受信

最大25日間保管



メッセージにファイルを添付して送信

- メール感覚で大容量ファイルを社外に安全に送信
- 送信ファイルはセキュアなクラウド環境に保管され、短期間で自動削除

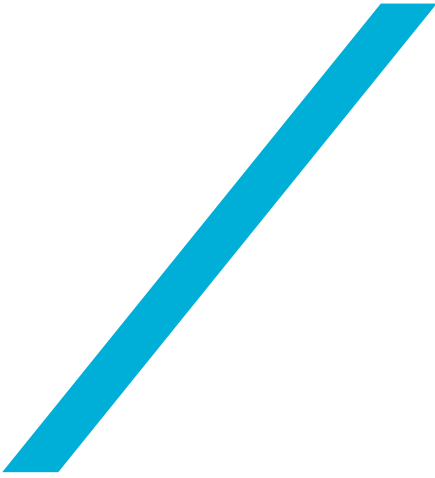
ファイル共有

無期限保管 ※自動削除設定可



共有グループにファイルをアップロード

- オンラインストレージ感覚で大容量ファイルを社外と安全に共有
- ファイルはセキュアなクラウド環境に保管され、中長期で共有可能



機能紹介 - ファイル送受信

画面構成

シンプルでわかりやすい画面構成で、どなたでも簡単にご利用いただけます。

送受信メニューの選択

送信・共有の切替

利用グループの選択

件名・メッセージの入力

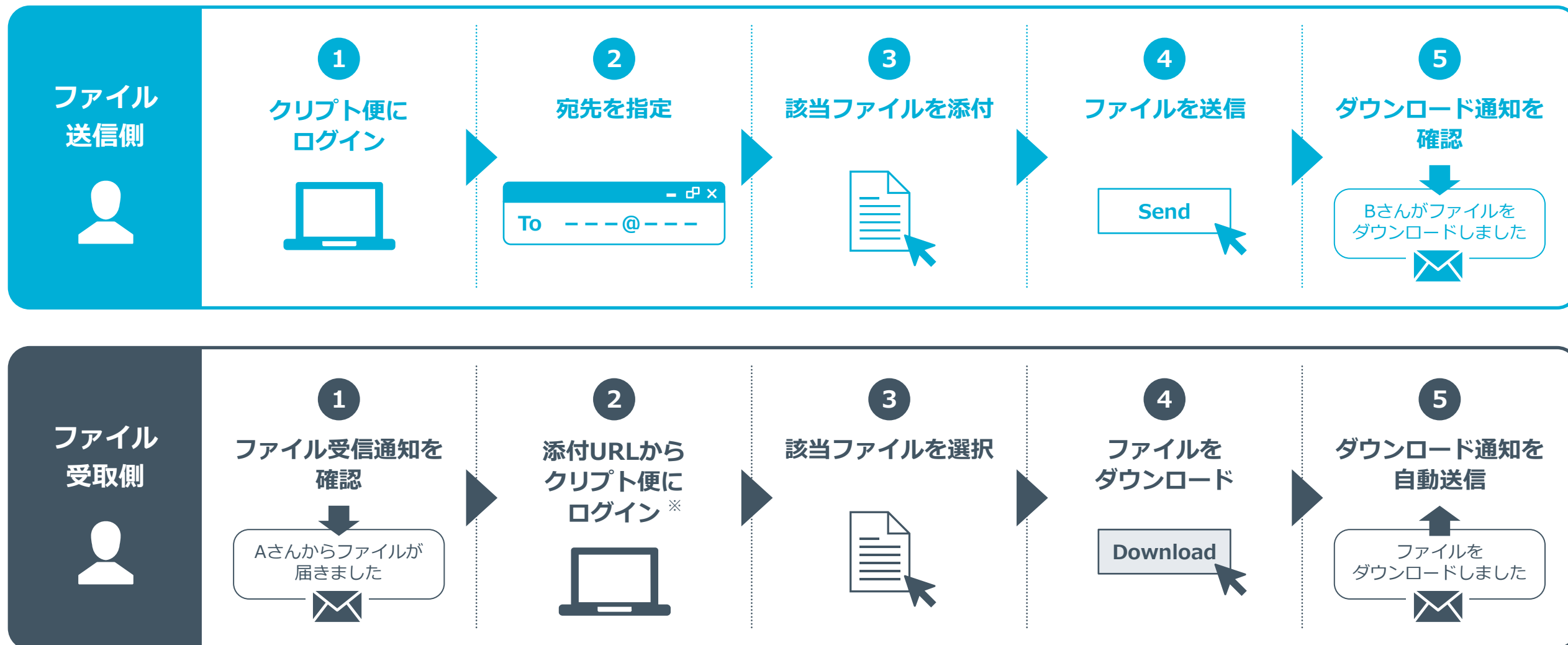
送信先の選択

ファイルの添付

パスワードの設定

シンプルな利用手順

送信側・受取側ともにシンプルな手順で簡単にご利用いただけます。

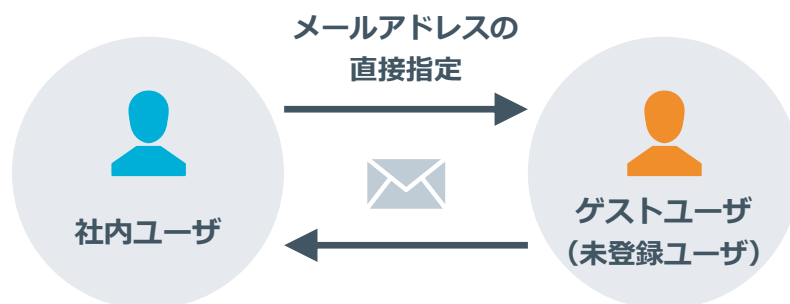


※受取側がログイン不要となるファイル送受信方法もございます。また、別途ファイルダウンロード用のパスワード設定が可能です(強制可)

利用ケースに応じた交換相手の制御

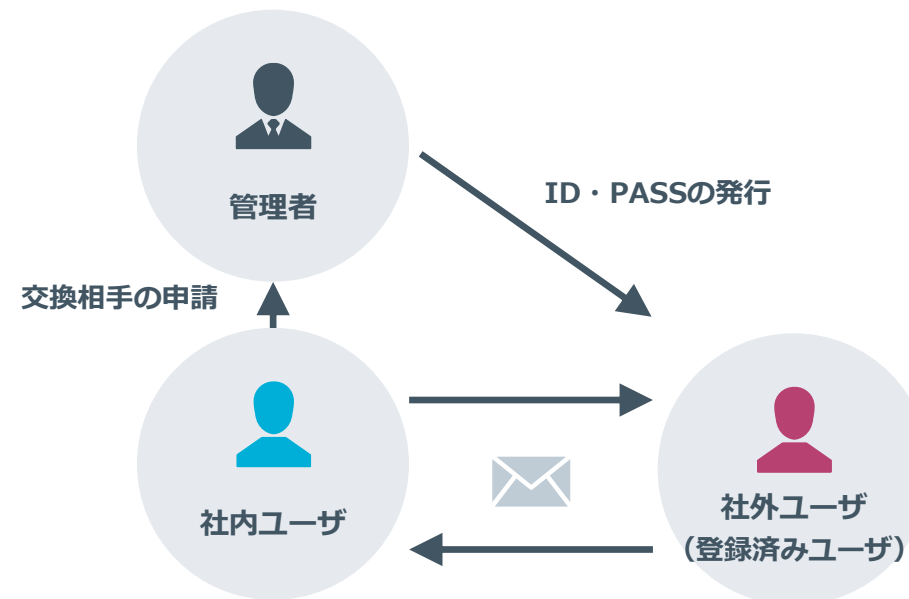
ファイル送受信では、利用ケースに応じて、ファイルの交換相手を自由に指定することも登録ユーザに限定することも可能です。

未登録ユーザとの自由度の高い送受信



- 都度任意のメールアドレスを指定してファイル送受信を行うご利用方法です
- 様々な相手と自由度高く送受信を行いたい場合に適しています
- ゲストユーザがファイル取得する際に、「ファイルパスワード」や「メールによるワンタイムパスワード」による認証強化が可能です

登録ユーザに限定した安全な送受信



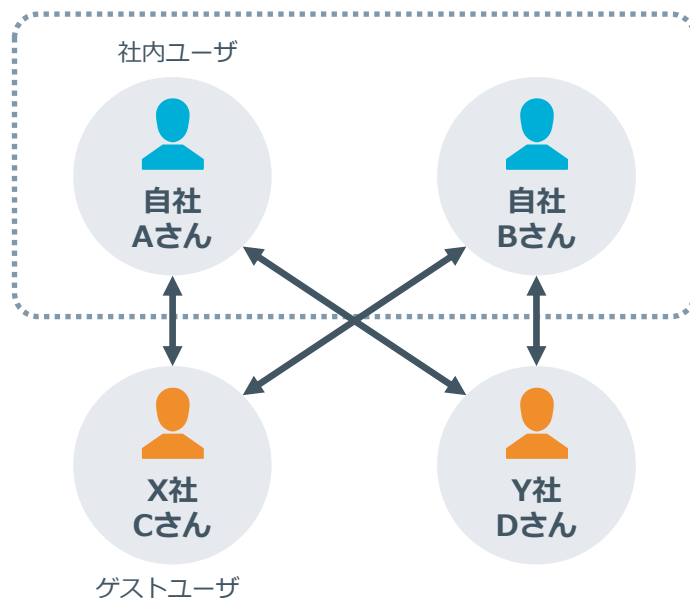
- 交換相手にアカウントを付与してファイル送受信を行うご利用方法です
- ユーザ登録された人物以外との送受信を禁止し、厳格な情報管理を行う場合に適しています

交換相手を制御するグループ機能



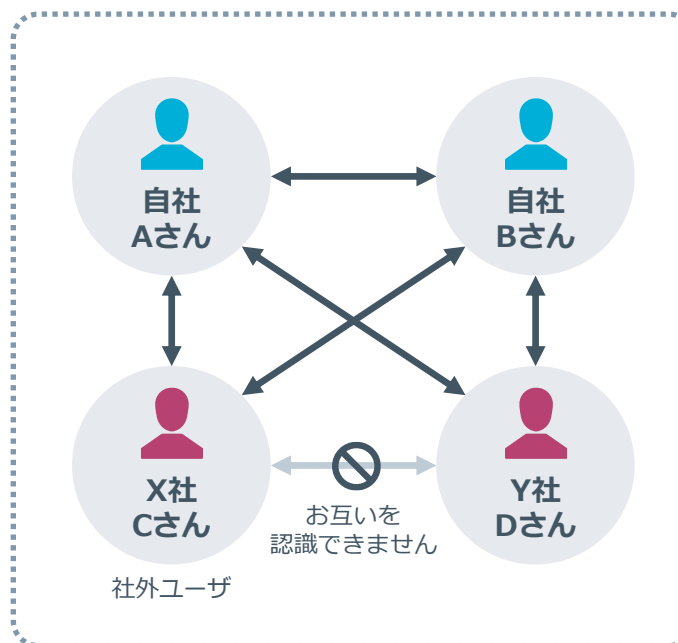
クリプト便を利用する社内・社外ユーザは必ずグループに所属し、所属グループの種別によって交換相手が制御されます。交換相手を自由に指定する場合はオープングループに、登録ユーザに限定する場合はクローズドグループに所属します。

ケース①（オープングループ）



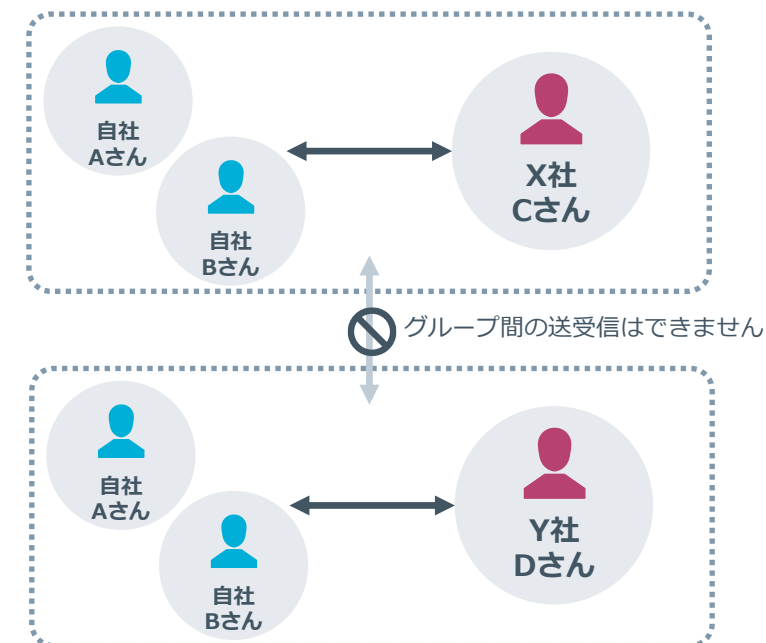
交換相手を任意指定できる
自由度の高いグループとして運用

ケース②（クローズドグループ）



同一グループに登録された
複数社のユーザに限定して運用

ケース③（クローズドグループ）



取引先ごとに
専用グループを作成して運用

グループ 機能表

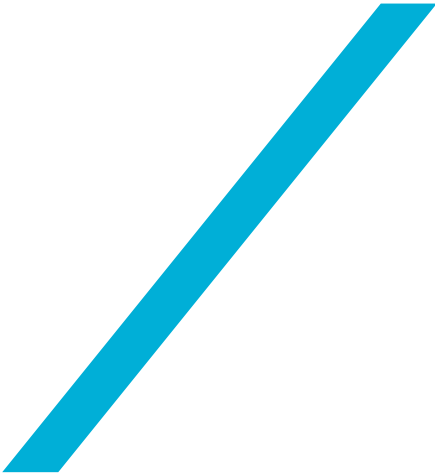
グループの作成・変更は管理者のみが操作できます。
グループは複数作成でき、1人のユーザを複数グループに所属させることも可能です。

グループ名	利用ケース	利用ユーザ		機能			
		登録ユーザ	未登録ユーザ	ゲストユーザとの送受信	複数グループ間の送受信	社外ユーザ同士の送受信	送受信先の制限
オープングループ	- 交換相手を自由に指定 - 使いやすさ、手軽さを重視	 社内ユーザ	 ゲストユーザ	○	×	-	△ ドメイン・メールアドレス制限が可能。オプションで上長承認設定が可能
クローズドグループ	- 交換相手を登録者に限定 - 誤送信・情報漏洩のリスク最小化を重視	 社内ユーザ  社外ユーザ	利用不可	×	×	×	○ 同グループの社外ユーザはお互いの存在も認識できません 登録されたユーザ以外への送信不可。オプションで上長承認設定が可能

アカウント種別と権限

ファイル送受信における「アカウント」は以下の4種類です。
セクション管理者はユーザ登録・グループ作成の権限を持つほか、各種ログを閲覧し、監視することができます。

アカウント種別	概要	利用機能・権限			
		所属可能グループ	送受信	ユーザ登録・権限設定	グループ作成・招待
 セクション管理者	社内外のユーザ登録、グループ作成、セキュリティ設定、各種ログ確認等を行う社内の管理者	-	-	○	○
 社内ユーザ	クリプト便利用者として登録された社内のユーザ	・ オープングループ ・ クローズドグループ	○	×	×
 社外ユーザ	クリプト便利用者として登録された社外のユーザ	クローズドグループ	○	×	×
 ゲストユーザ	クリプト便送受信先として一時的に指定される社外の未登録ユーザ	所属なし オープングループ所属の社内ユーザのみと交換可能	○	×	×



機能紹介 – ファイル共有

画面構成

シンプルでわかりやすい画面構成でどなたでも簡単にご利用いただけます。

The screenshot shows the Cryptobin File Sharing web application. The interface is divided into several sections:

- Top Bar:** Includes the logo 'クリプト便', navigation tabs for 'ファイル送信' (File Transfer) and 'ファイル共有' (File Sharing), and a user profile dropdown for '社内ユーザ01'.
- Left Sidebar:** Contains a 'グループの切替' (Group Switching) section with options for '共有グループA', '共有グループB', and '共有グループC'. Below this is a 'ボックス一覧表示' (Box List Display) section with icons for 'アンケート回収' (Survey Collection), 'ご提案資料' (Proposal Materials), and 'プロジェクト' (Project).
- Main Content Area:**
 - Search:** A search bar with '名前検索' (Name Search) and '詳細検索' (Detailed Search) options.
 - File List:** A table showing a list of files with columns for '名前' (Name), '更新日時' (Update Date), and 'サイズ' (Size). Files listed include 'Cryptobin_FileShare.pdf', 'Cryptobin_Overview.pdf', and '議事録.docx'.
 - Actions:** A '一括ダウンロード' (Bulk Download) button is visible above the file list. A context menu for a selected file shows 'ダウンロード' (Download) and 'プレビュー' (Preview) options.
 - File Details:** A sidebar on the right shows details for the selected '議事録.docx' file, including its location, upload date, and size.

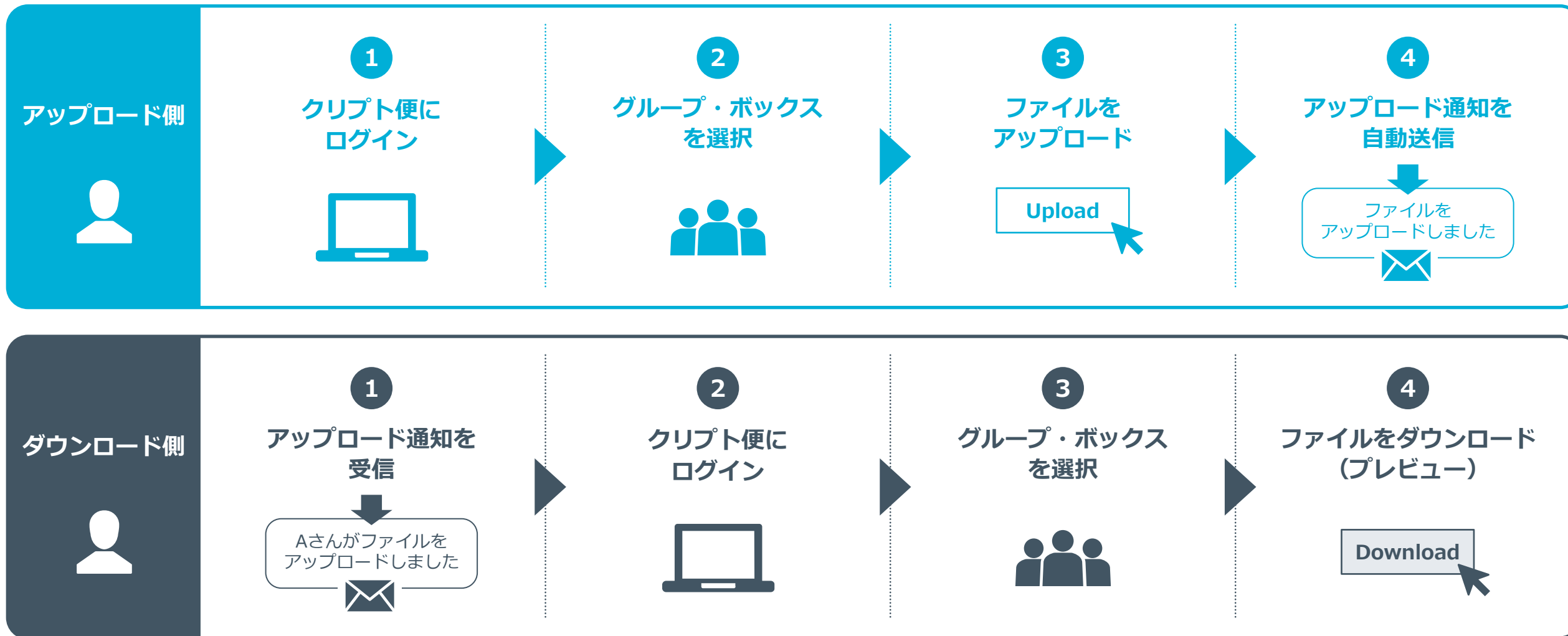
Callouts and annotations provide additional context:

- 送信・共有の切替:** Points to the navigation tabs at the top.
- 共有ファイルの表示:** Points to the file list area.
- 一括ダウンロード:** Points to the bulk download button.
- ダウンロード・プレビューが可能:** Points to the download and preview options in the context menu.
- ボックス選択時 → ボックス情報、公開先の表示**
ファイル選択時 → ファイル情報の表示: Points to the file details sidebar.
- ボックス一覧表示:** Points to the sidebar containing box management options.
- ボックスメニュー:**
 - ボックス作成・管理 (Box Creation/Management)
 - ファイル共有 (File Sharing)
 - 共有グループA, B, C (Shared Groups A, B, C)
 - アンケート回収 (Survey Collection)
 - ご提案資料 (Proposal Materials)
 - プロジェクト (Project)

※プレビューできるファイルには、制限がございます

シンプルな利用手順

アップロード時・ダウンロード時ともにシンプルな手順で簡単にご利用いただけます。



③ゲストユーザの場合、ログイン後の「グループ・ボックスを選択」の操作ステップはありません
 ④ダウンロード禁止&プレビューのみとすることで、意図せぬファイル利用リスクを軽減できます
 ※プレビューできるファイルには、制限がございます

グループ 機能表

グループの作成・変更は管理者のみが操作できます。

グループは複数作成でき、1人のユーザを複数グループに所属させることも可能です。

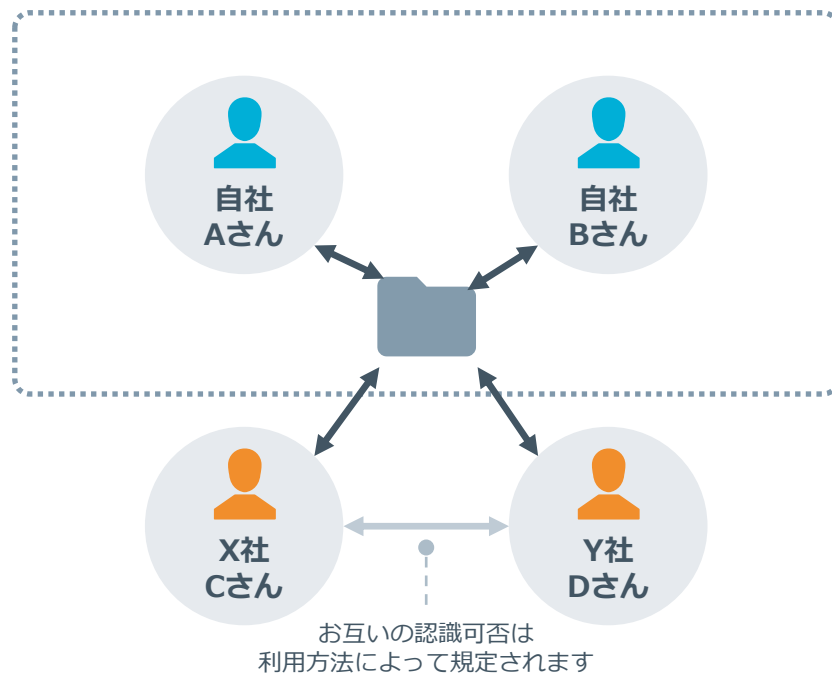
グループ名	利用ケース	利用ユーザ		機能			
		登録ユーザ	未登録ユーザ	未登録ユーザとの共有	複数グループ間の共有	社外/ゲストユーザ同士の共有	共有相手の制限
オープングループ	- 交換相手を自由に指定 - 使いやすさ、手軽さを重視	 社内ユーザ	 ゲストユーザ ※初回アクセス時にユーザ自身でゲストアカウント登録	○	×	△	△ 共有先のドメインを制限可能。オプションで上長承認設定が可能
クローズドグループ	- 交換相手を登録者に限定 - 誤送信・情報漏洩のリスク最小化を重視	 社内ユーザ  社外ユーザ	利用不可	×	×	△ 同グループの社外ユーザ同士の認識・共有可否はボックス種別により制御可能	○ 同グループ内のユーザ以外への共有不可。オプションで上長承認設定が可能

グループの使い分け例

 = 社内ユーザ
 = ゲストユーザ
 = 社外ユーザ

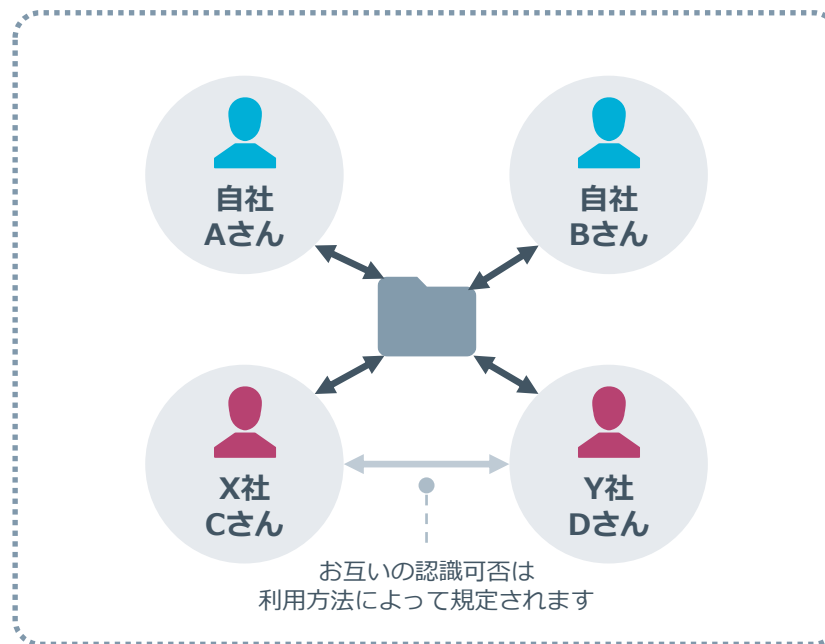
グループごとの所属メンバーの構成により、「誰が・誰とファイル交換できるか」を制御します。

ケース①（オープングループ）



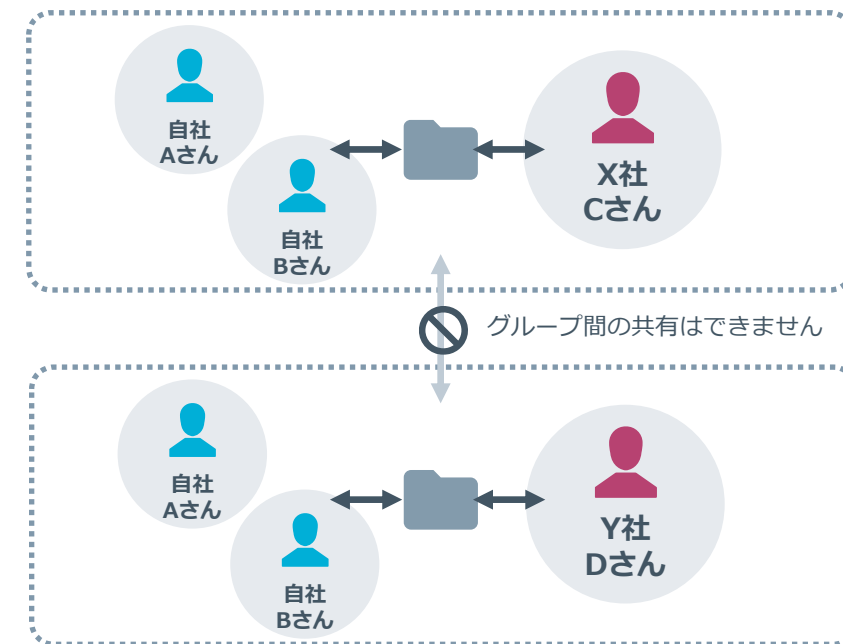
権限を持った社内ユーザが
交換相手を任意に招待できる自由度の高いグループ

ケース②（クローズドグループ）



同一グループに登録された
複数社のユーザに限定して運用

ケース③（クローズドグループ）

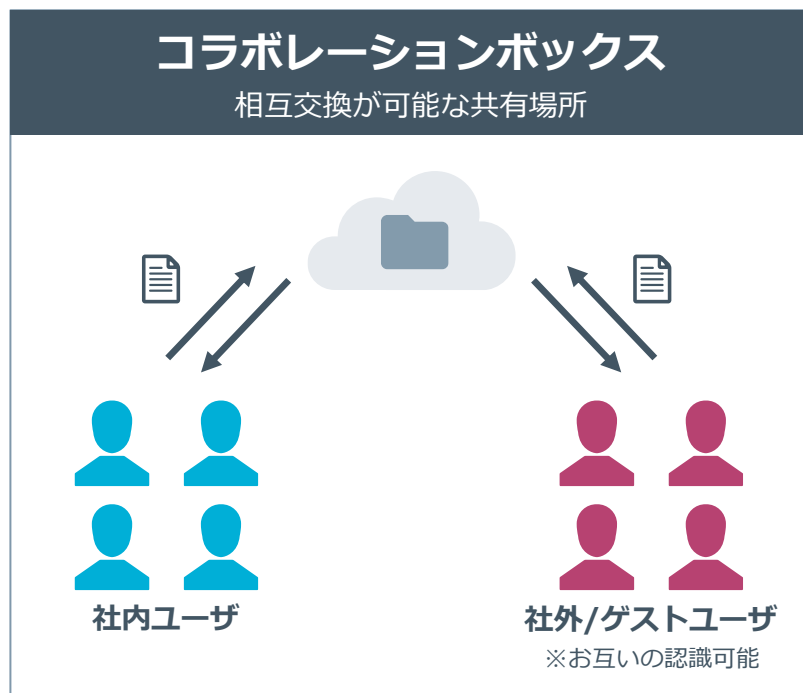


取引先ごとに
専用グループを作成して運用

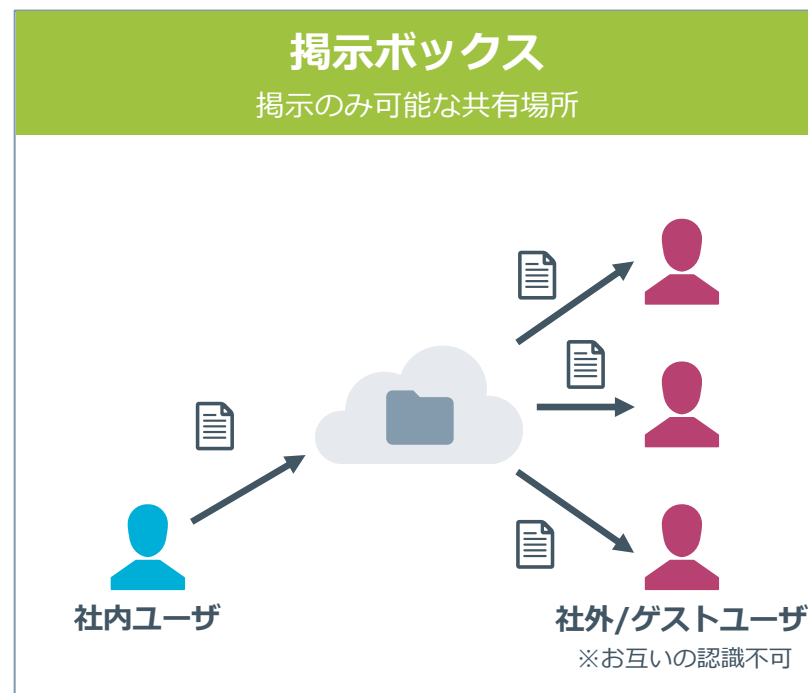
※ オープングループでも同様の運用は可能です

利用方法を制御するボックス機能

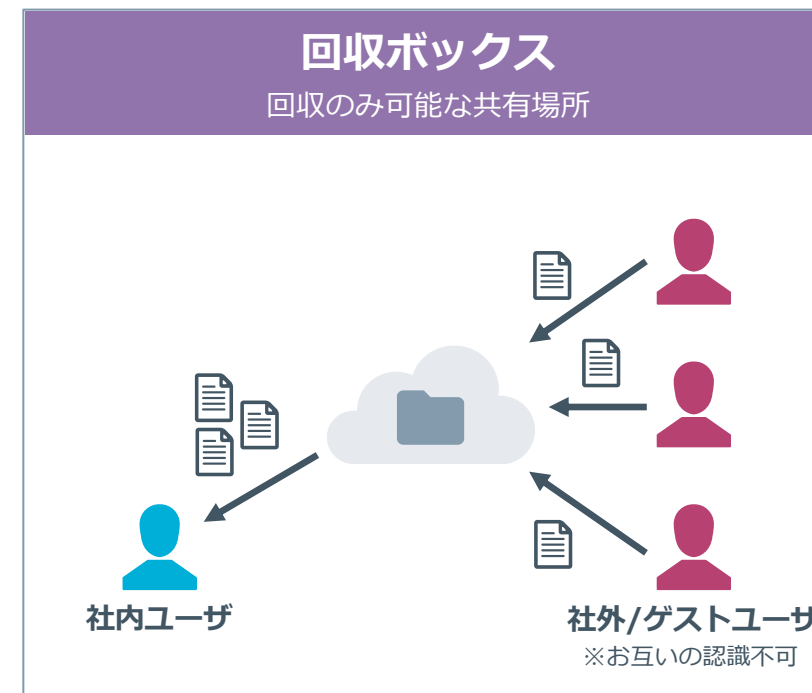
グループ内に設置できる3種類のボックス(ファイル置き場)によって、ユーザの利用方法をさらに細かく制御できます。



- 全員がボックスに所属するユーザをお互いに認識し合いながら、ファイルのアップロード・ダウンロードを行うことができます。
- お互いにファイル授受が発生するプロジェクトなどで利用されます。



- 社外/ゲストユーザは、社内ユーザが格納したファイルのダウンロードのみ可能です。社外/ゲストユーザ同士はお互いを認識できません。
- 相手からファイルを受け取る必要がない、会員や会議出席者への資料配布などで利用されます。

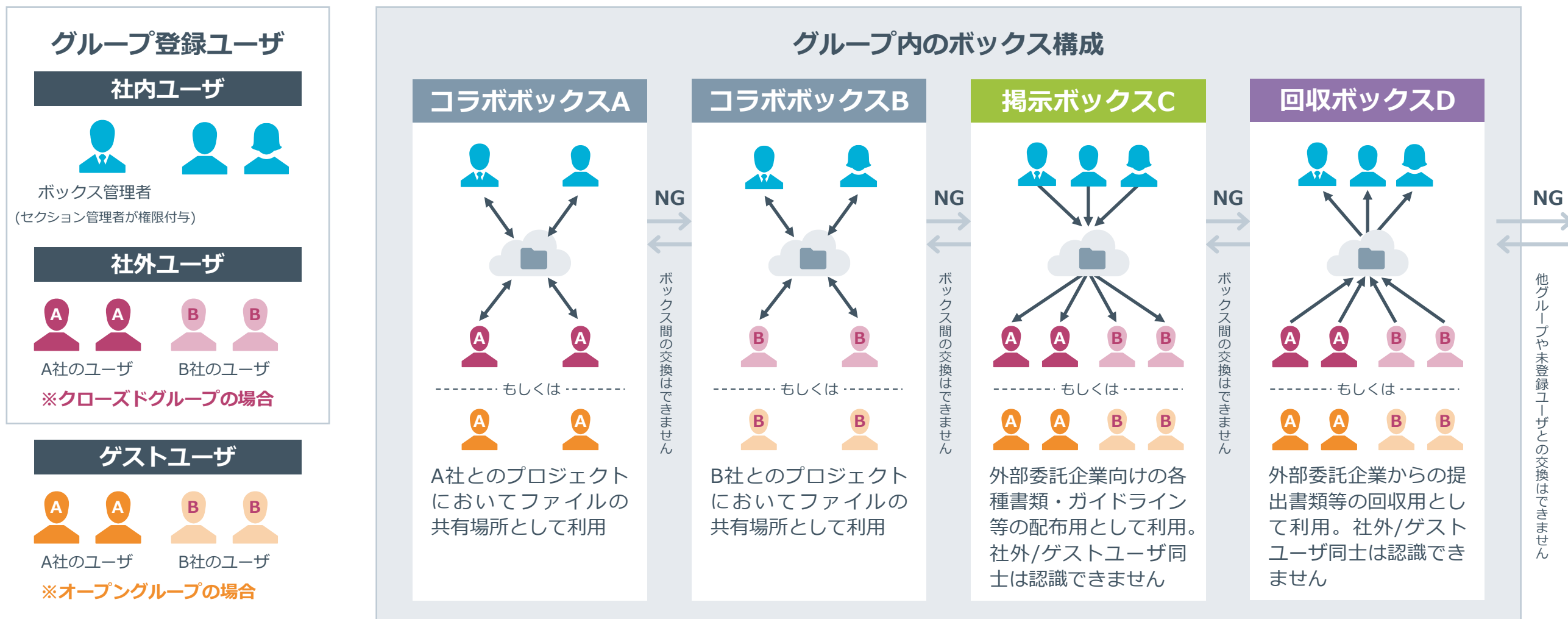


- 社外/ゲストユーザは、社内ユーザに共有したいファイルのアップロードのみ可能です。社外/ゲストユーザ同士はお互いを認識できません。
- 相手にファイルを渡す必要がない、提出物の回収などで利用されます。

ボックスの使い分け例

ボックス種別と所属メンバーの選択により、「誰が・誰と・どのようにファイル交換できるか」を細かく制御します。
ボックス管理者のみが「ボックスの作成」や「所属ユーザの設定/ゲストユーザの招待」の操作が可能です。

■ = コラボ ■ = 掲示 ■ = 回収



補足 | ゲストユーザの招待（オープングループ）

ボックス管理者がゲストユーザを招待すると、対象のメールアドレスに招待通知メールが届きます。

ゲストユーザは通知メール内のURLからゲストユーザアカウント登録をすることで、ボックスにアクセス可能となります。



ボックス管理者

1 対象のボックスにゲストユーザを招待

ボックスメンバー追加 ([X社様]資料共有ボックス)

グループメンバー < 1 /1 >

Q ユーザ名・メールアドレスで検索 すべて選択

社内ユーザ ゲストユーザ

ユーザ名
X社△△

メールアドレス
xxx@cryptobin.jp

ボックス所属有効期限
2023/07/19

ユーザ追加

- 招待するボックス毎に所属有効期限の設定が必ず必要です。
(初期設定3ヶ月、最長12か月) ※適宜ボックス管理者は延長可能
- ユーザの棚卸をすることで無用な期間のファイル共有を防ぎます。

2 初回アクセス時にゲストユーザアカウント登録



ゲストユーザ

アカウント登録

ゲストユーザアカウントとして利用するメールアドレス、パスワードを入力してください。

アドレス
メールアドレス

パスワード
パスワード

パスワードを表示する

※パスワードは7文字以上で設定してください。
※英字/数字を含む必要があります。

登録する

- ゲストユーザ自身がログインパスワードを設定し、次回以降ボックスにアクセスする際に使用します。
- 同時に複数のボックスに所属する場合、ゲストユーザアカウントは共通のため、アカウント登録は初回のみとなります。

アカウント種別と権限

ファイル共有における「アカウント」は以下の5種類です。
社内ユーザの一部をボックス管理者として指定し、ボックス（ファイル置き場）の作成・編集権限を付与します。

ユーザ名	ユーザ概要	利用機能・権限					
		コラボレーション ボックス	掲示 ボックス	回収 ボックス	ユーザ登録・ 権限設定	グループ作成・ ユーザ紐づけ	ボックス作成・ ユーザ紐づけ/招待
 セクション 管理者	社内外のユーザ登録、グループ作成、各種ログ確認等を行う社内の管理者	-	-	-	○	○	×
 社内ユーザ ボックス管理者	クリプト便利利用者として登録された社内のユーザ。ボックス作成権限を持つ	• 取得/プレビュー • 登録 • 更新 • 削除	• 取得/プレビュー • 登録 • 更新 • 削除	• 取得/プレビュー • 削除	×	×	○
 社内ユーザ 一般利用者	クリプト便利利用者として登録された社内のユーザ				×	×	×
 社外ユーザ	クリプト便利利用者として登録された社外のユーザ	• 取得/プレビュー • 登録 • 更新 • 削除	• 取得/プレビュー	• 取得/プレビュー • 登録 • 更新 • 削除 ※ すべて自分のファイルのみ	×	×	×
 ゲスト ユーザ ※オープングループの場合	クリプト便利利用者として招待された社外のユーザ	• 取得/プレビュー • 登録 • 更新 • 削除	• 取得/プレビュー	• 取得/プレビュー • 登録 • 更新 • 削除 ※ すべて自分のファイルのみ	×	×	×

参考 | 利用すべき機能・グループに迷った際の参考表

機能・グループによりセキュリティ面や使い勝手が異なります。
適した利用方法の検討にあたり参考にして頂きたい補足事項をまとめています。

機能	グループ	交換先の統制	社外/ゲストユーザ の棚卸	IPアドレス制限/ 二要素認証の適用 ※4	承認機能の 適用対象	ファイルの ダウンロード期限	社外/ゲストユーザ の使い勝手
ファイル 送受信	オープングループ	社内ユーザ ※1	— (棚卸不要)	 社内ユーザ  ゲストユーザ※5	・ 社内ユーザの ファイル送信時	20MB以下：最大25日間 20MB超：最大7日間	・ 受信したメッセージ 毎のURLにアクセス し、ファイルDL/返信
	クローズドグループ	セクション管理者	セクション管理者	  社内ユーザ 社外ユーザ	・ 社内ユーザの ファイル送信時	20MB以下：最大25日間 20MB超：最大7日間	・ ログイン後、自ら新 規送信可能 ・ 過去の送受信メッ セージも確認可能
ファイル 共有	オープングループ	社内ユーザ ※1 ※2	社内ユーザ ※2 ※3	  社内ユーザ ゲストユーザ※5	・ ゲストユーザを 招待する時 ・ 社内ユーザの ファイル共有時	無期限 (自動削除の設定可能)	・ 所属するボックス毎 のURLからログイン し、ファイル操作
	クローズドグループ	セクション管理者	セクション管理者	  社内ユーザ 社外ユーザ	・ 社内ユーザの ファイル共有時 ・ 社外ユーザの ファイル共有時	無期限 (自動削除の設定可能)	・ ログイン後に対象の ボックスを選択し、 ファイル操作

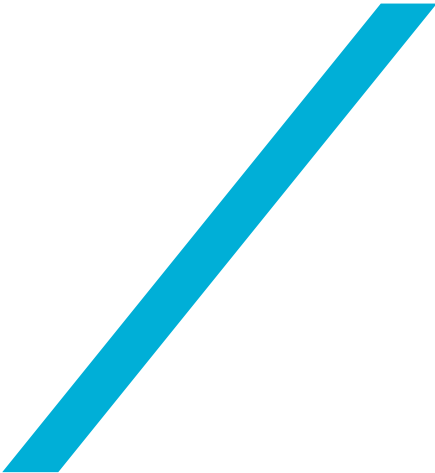
※1 セクション管理者は送信/共有先のメールアドレスをドメイン/メールアドレスを指定することで制限可能です。

※2 利用方式により「ボックス管理者権限を持つ社内ユーザ」もしくは「社内ユーザ全体」となります。

※3 ゲストアカウント登録方式では、所属するボックス毎に所属有効期限が定められるため、期限延長しなかった場合は自動解除(棚卸)されます。

※4 二要素認証はワンタイムパスワード認証(標準機能)と端末認証(オプション)があります。端末認証はゲストユーザへ適用自体は可能ですが、証明書の事前インストールが必要なため運用困難です。

※5 IPアドレスや二要素認証は適用できませんが、ファイル取得時にメールによるワンタイムパスワード認証を適用することが可能です。



機能紹介 – その他の機能

クリプト便機能全体像

ファイル送受信・ファイル共有のほか、用途拡大やセキュリティ強化に役立つオプション機能を多数ご用意しています。

メイン機能

ファイル送受信

ファイル送信

ユーザログ管理

ファイル受信

IPアドレス制限/
ワンタイムパスワード認証

受信時自動通知

ダウンロード時自動通知

ウイルスチェック

ユーザグループ管理

ファイル共有

ファイル共有

ユーザログ取得

アップロード時自動通知

IPアドレス制限/
ワンタイムパスワード認証

ユーザグループ管理

ボックス機能

ウイルスチェック

プレビュー機能

ダウンロード禁止機能



オプション機能

セキュリティ・監査強化

承認

グループ毎送信ログ監査

宛先直接入力禁止

セキュリティ強化 (PCI DSS)

ファイルアーカイブ

データセンター監査

管理者操作ログ

ログ保存日数延長

重要情報検知β版(※)

システム連携

オートパイロット

ユーザID連携

API

認証連携

端末認証

メール連携

その他

大容量送付

画面カスタマイズ

専用ドメイン

EVサーバ証明書管理

※重要情報検知機能β版は、承認オプションのサブ機能として提供しております

よくある課題と対応機能 1/2

ファイル交換におけるセキュリティ課題と機能の対応表です。オプション機能検討時にご参照ください。

○：根本対策
△：部分対策

セキュリティ課題	項番	対策	ファイル送受信		ファイル共有	
			標準	オプション	標準	オプション
許可していない環境への送受信禁止	1-1	許可された環境外からのログインを禁止する (パスワード漏洩対策をする)	○IPアドレス制限 ○ワンタイムパスワード認証(※1)	○端末認証 ○認証連携	○IPアドレス制限 ○ワンタイムパスワード認証	○端末認証 ○認証連携
	1-2	許可していない相手先への送受信/共有を禁止する	○クローズドグループ ○送信・共有先制限	-	○クローズドグループ ○送信・共有先制限	-
危険な操作の監視/対応	2-1	宛先/添付ファイルの誤設定を監視/防止する	○送信前チェック △追加メールアドレス	○承認 △宛先直接入力禁止	△追加メールアドレス	○承認
	2-2	不正操作の痕跡を確認できるようにする	△メッセージログ	○管理者操作ログ ○ファイルアーカイブ	△ファイル共有ログ △ボックスログ	○管理者操作ログ ○ファイルアーカイブ

※1 ユーザ種別に応じて以下の認証を追加することが可能です。アクセス環境自体を制限する機能ではございませんのでご注意ください。

社内/社外ユーザ：Google Authenticatorアプリを用いたワンタイムパスワード認証（WinAuthにも対応）

ゲストユーザ：送信者が送信時に宛先指定したゲストユーザのメールアドレス宛に届くワンタイムパスワード認証

よくある課題と対応機能 2/2

ファイル交換におけるセキュリティ課題と機能の対応表です。オプション機能検討時にご参照ください。

○：根本対策
△：部分対策

セキュリティ課題	項番	対策	ファイル送受信		ファイル共有	
			標準	オプション	標準	オプション
危険な操作ができない環境を用意	3-1	ウイルスファイルの送受信/共有がされないようにする	○ウイルスチェック※1 △拡張子制限	-	○ウイルスチェック※1 △拡張子制限	-
	3-2	ファイルのダウンロード権限を制限する	△ファイル持出抑止※2	-	○掲示/回収ボックス ○ダウンロード禁止機能/プレビュー機能	
	3-3	ファイルを長期間保管しないようにする	○お預かり期限設定	○送受信ファイル保存 日数変更	○自動ゴミ箱移動/自動 削除	
	3-4	ヒューマンエラーによる誤送信リスクを排除する	-	△オートパイロット※3 △API ※3	-	
	3-5	当該監査人の対象外グループのログ閲覧を禁止する	-	○グループ毎 送信ログ 監査	-	○グループ毎 送信ログ 監査
不要アカウントの利用禁止	4-1	使わなくなったアカウントを棚卸する	△自動ロック	○ユーザID連携	△自動ロック △ゲストユーザ所属有効期限	○ユーザID連携
	4-2	他社セクション発行のID利用／他社セクションのゲストユーザ利用を禁止する	-	○専用ドメイン※4 (+端末認証※5)	-	○専用ドメイン※4 (+端末認証※5)

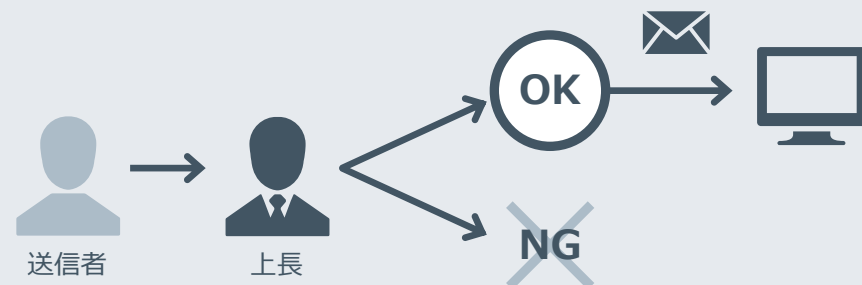
※1 ウイルスチェックを実施するファイルサイズの上限はアップロード時100MB、ダウンロード時20MB。
※2 送信ボックスでのファイルダウンロードを禁止する設定。
※3 ヒューマンエラーを排除するには貴社側での開発・作り込みが必要。
※4 自社セクションを専用ドメイン化し、クリプト便の汎用ドメインをURLフィルタリングで禁止。URLフィルタリングは貴社側でのご用意が必要。
※5 専用ドメインと端末認証を併用することで、他社セクションのID利用禁止と、特定端末からのアクセスのみに制限も可能。

セキュリティ・監査強化

送受信

共有

承認機能（事前承認、事後承認）



●ファイル送受信

承認後にファイル送信する「事前承認」と、ファイル送信と同時に承認依頼する「事後承認」の2パターンを用意。多段承認も可能。

●ファイル共有

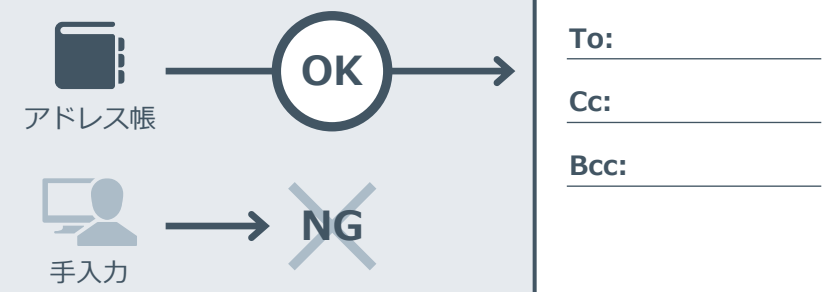
承認後にファイル共有する「ファイル承認」と、承認後にゲストユーザを招待する「ゲスト追加承認」の2種類を用意。

○重要情報検知機能(β版)を提供開始

承認画面において、ファイルに含まれる氏名・住所・電話番号・クレジットカード番号を確認可能。※

送受信

宛先直接入力禁止（オープン送信時）



オープングループでの送信時に、強制的にアドレス帳からの入力を必須とすることができます。オープングループ利用時の誤送信リスクを低減し、セキュリティを強化できます。

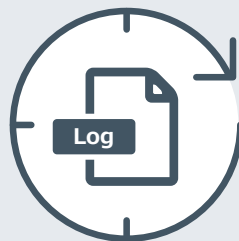
※重要情報検知機能は抽出可能な対象に制限があります。(ファイルサイズ、拡張子など)
重要情報を正確に検知するものではなく、検知できない場合や誤検知を行う場合があります。

セキュリティ・監査強化

送受信

共有

ログ保存日数延長／ 管理者操作ログ日数延長



期間延長

管理者が閲覧する各ログの保存期間を1年単位で期間延長します。

- ・ ログ保存日数延長の対象
送受信ログ(標準：184日間)、ログイン関連ログ、取得情報ログ、ファイル共有のファイルログ(標準：62日間)
- ・ 管理者操作ログ日数延長
管理者操作ログ、ファイル共有のボックスログ(標準：62日間)

送受信

共有

ファイルアーカイブ機能（原本保存）



ユーザが送信・共有したファイル原本を管理画面上でダウンロード可能になります。高度なシステム監査や情報統制の強化にお役立ていただけます。

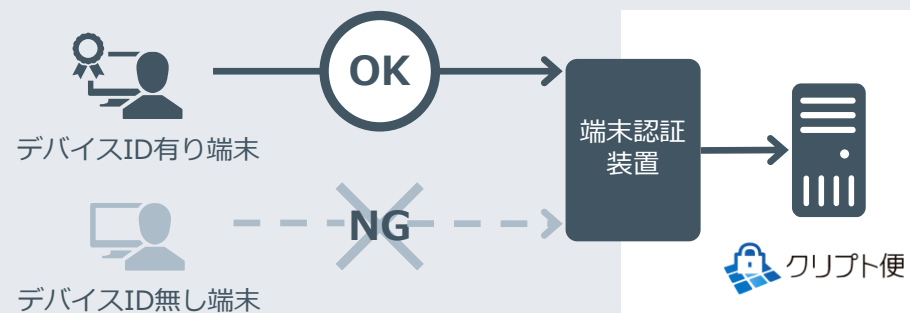
※保存期間は、送受信ログ、ファイルログ(ファイル共有)の取得期間と同じです。

セキュリティ・監査強化

送受信

共有

端末認証

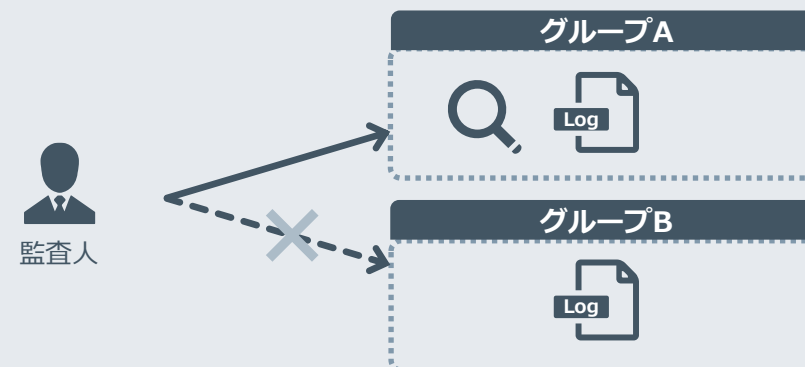


クリプト便にアクセス出来る端末を証明書導入済みの端末に制限することができます。証明書とクリプト便IDによる二要素認証が実装可能です。

※ ユーザID連携機能オプションとの併用には対応しておりません。

送受信

グループ毎送信ログ監査



グループ単位で送受信ログの閲覧範囲を制御できます。監査者にIDを発行することによって、セクション全体の送受信ログではなく、指定したグループの送受信ログのみの閲覧権限を付与できます。

セキュリティ・監査強化

送受信

共有

セキュリティ強化 (PCI DSS)



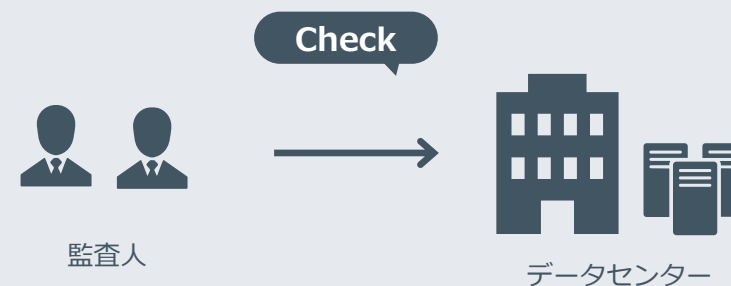
ご契約セクションのユーザアカウントに対して、PCI DSS要件を満たす処置（アカウントロック、セッションタイムアウト時間、パスワードポリシー）を強制します。

- ※ PCI DSS 準拠には、本オプションの他に、管理者操作ログ、端末認証が必要です。
- ※ クリプト便は、サービスプロバイダーとして、PCI DSS 準拠したことを示す認証を取得しております。

送受信

共有

データセンター監査

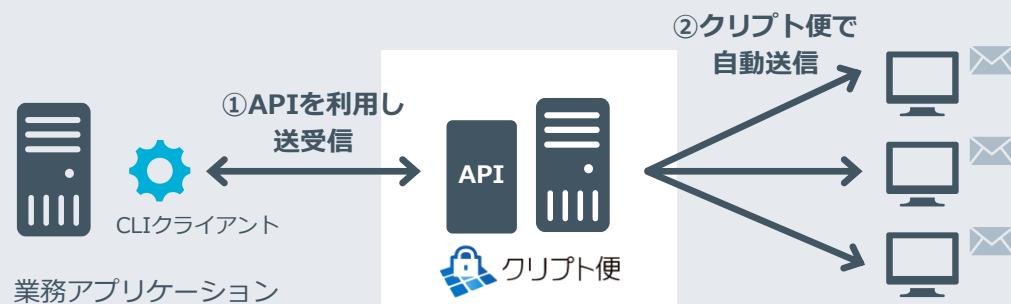


クリプト便サーバが置かれているデータセンターを監査することができます。データセンター自体のセキュリティ（運用・管理）の確認から、弊社エンジニアへのヒアリングを直接行うことが可能です。

システム連携

送受信

オートパイロット機能



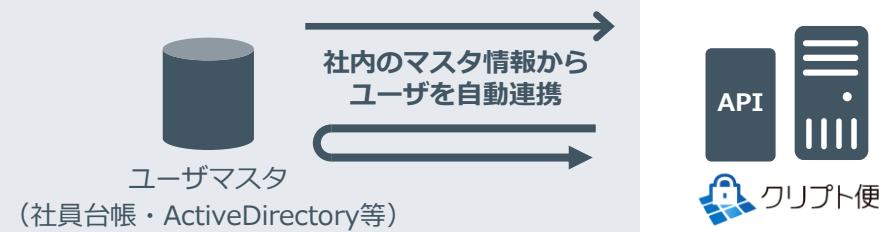
クリプト便の送受信APIを簡易に利用できる「CLIクライアント（送信/受信）」を提供します。

APIの活用により、自社の業務アプリケーションからクリプト便による自動送信・一斉配信が可能です。自社の業務システムから大量の送受信を自動的に行うようなシーンでご活用いただけます。

送受信

共有

ユーザID連携機能



APIを用いてアカウント情報を自動登録・削除・更新するツールを提供します。ユーザマスタ（社員台帳・ActiveDirectory等）とクリプト便を自動連携させることで、アカウント管理業務負荷の低減につながります。

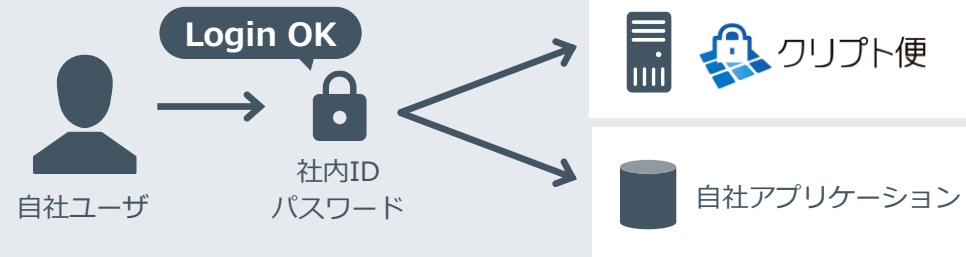
グループへの所属状態を更新することもできます。

システム連携

送受信

共有

認証連携機能

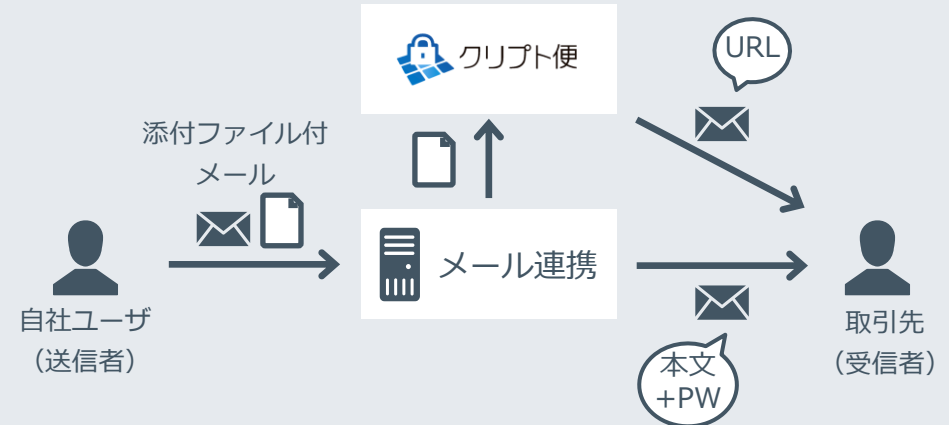


社内のID管理システムと連携し、普段利用しているID・パスワードを使ってクリプト便にログインすることが可能になります。パスワード管理が一元化され、セキュリティ強化と運用負荷の低減につながります。

※ 端末認証オプションとの併用時、端末認証を適用するユーザは認証連携をご利用いただけません。

送受信

メール連携



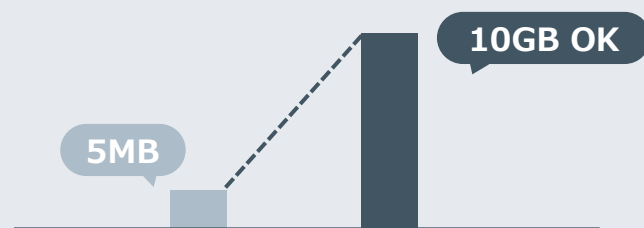
普段お使いのメーラーからファイルを添付して送信するだけで、自動的にクリプト便を経由して安全にファイルを送信します。

※ 併用不可となるオプション／利用方法がございます。詳細はお客様のご利用用途をお伺いの上でご案内いたします。

その他の便利機能

送受信

大容量送付

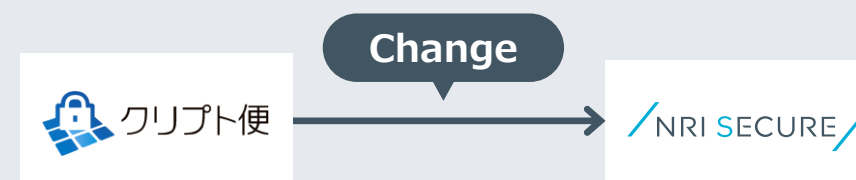


最大10GBまでのデータ送受信が可能になります（標準プランでは5MB～20MB）。電子メール送受信の際の容量制限やメールサーバの負荷を意識する必要はありません。ファイルのお預かり期限は1～7日間で設定できます。

送受信

共有

画面カスタマイズ



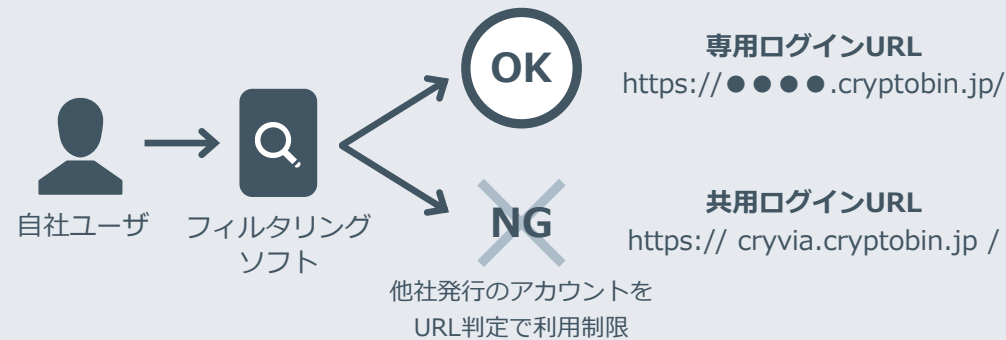
ユーザ画面のロゴ、フッタロゴ、お知らせ欄を貴社独自のものに変更することができます。ログイン前画面、ログイン後画面の両方についてカスタマイズ可能です。

その他の便利機能

送受信

共有

専用ドメイン



クリプト便のログインURLを貴社独自のドメインに変更できます。ドメインを専用とすることで、自社ユーザが他社発行のアカウントでクリプト便を利用しないよう制限できます。

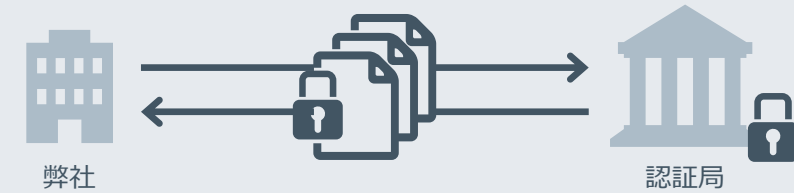
※ 別途、証明書の購入費・維持費がかかります。

※ 端末認証オプションと併用する場合には、別途料金が発生いたします。

送受信

共有

EVサーバ証明書管理 (専用ドメインオプション契約時のみ)



弊社にて証明書の手配および管理をいたします。お客様にて別途対応することなく、ご利用いただくことが可能です。

※ 取得するドメインは「●●●●.cryptobin.jp」となります。

ご利用までの流れ

まずは30日間の無料トライアルにて、機能性をご確認ください。
無料トライアルの環境は、3営業日程度でご用意いたします。



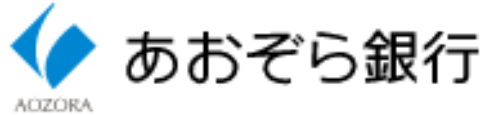
機能性をご理解いただくために無料トライアルをご用意しています。実際に社外とのやりとりでご利用いただけます。

ご利用のプラン・オプション機能を選択いただいたうえで、お申込書を頂戴いたします。

お申込書ご提出後、最短5営業日程度で、管理者IDを発行させていただきます。

ID発行後、貴社にてユーザ・グループの登録を行っていただければ、すぐにご利用いただけます。また、トライアルを実施されている場合、その環境をそのまま本番環境として引き継ぐこともできます。

導入事例



企業名	株式会社あおぞら銀行
業界	金融
取り組んだ課題	- 機密データの持ち出し防止 - 送信ファイルアーカイブによる監査強化 - データのセキュリティ環境強化



ITコントロール部
サイバーセキュリティ対策室
室長
山口 貴歳 氏



ITコントロール部
サイバーセキュリティ対策室
部長代理
増田 元治 氏

“他のサービスにない3つのアドバンテージで クリプト便の採用を決定

あおぞら銀行が新たなファイル転送のサービス検討に着手したのは、「サイバーセキュリティ対策室」設置1年前となる2017年秋のこと。選定ではクリプト便を含め、シェアが高く知名度の高いサービスを複数選んで比較しました。具体的には、以下の3つを重要なポイントとして検討を進めたと増田氏は語ります。

- ① 内部不正による機密データの持ち出しを防げるか？
- ② 送ったファイルを長期間アーカイブして、監査に対応できるか？
- ③ データのセキュリティ環境を確認できるか？

これら3つの重要ポイントを満たしていると判断して最終的にクリプト便の採用を2018年10月に決定。経営層への説明や重点部署でのトライアル利用を経て、2018年11月末にはあおぞら銀行グループ全体での利用が始まりました。

“予想を上回るユーザ数の伸び。 すでに社内22部門とグループ会社3社に展開中

増田氏は導入効果について、「作業量の削減などの効果は確実に出ていますが、各部門がそれぞれの判断でファイル転送サービスを利用するのではなく当行全体で安全性が確認されたファイル転送サービスを統一して利用する環境を整備できたという面を評価しています。」と説明します。

※本文中の組織名、職名、概要図は公開当時のものです。

株式会社NEXCOシステムソリューションズ様



企業名	株式会社NEXCOシステムソリューションズ
業界	IT
取り組んだ課題	• NEXCOグループの安全なファイル送信の仕組み作り • 約5,300名のユーザによる効率的な利用基盤整備



情報システム開発部
開発グループ 主任（当時）
柿木 賢一郎 氏



名古屋支店 運用課
課長代理（当時）
秋岡 朋之 氏



名古屋支店 開発課

橋爪 聡 氏

“安全性と利便性、保守性を すべて満たしたクリプト便を採用

全国に高速道路事業を展開するNEXCOグループ唯一のIT専門会社として、NEXCO 3 社の基幹システム等の開発から運用管理までを一手に担う株式会社NEXCOシステムソリューションズ。同社では、顧客からのよりセキュアなファイル送信の仕組み作りの要請を受けて、クラウドサービスであるクリプト便を導入。「主な評価ポイントは、安全性と利便性、そして保守性の3つでした。具体的には、まず安全性として誤送信や盗聴の防止、ウイルス対策、ログの取得、承認機能など。利便性としては、重要データや大容量のファイルの受送信も、Web画面だけで簡単かつ高速に行えること。そして保守性としては、クライアント環境の変化に迅速に対応できることといった点をすべてクリアしていたことが、採用の決め手となりました」。（秋岡氏）

“社内認証基盤とのシングルサインオンを可能にして 約5,300人分のID／パスワード運用をセキュアに効率化

クリプト便により実現した最大のメリットは、約5,300アカウントという大規模ユーザの利便性向上と、セキュアで効率的な運用管理の両立でした。その目玉となる機能が、社内認証基盤とのシングルサインオンです。これはクリプト便の「認証連携機能」を利用したもので、ユーザの社内認証基盤であるActiveDirectoryのID／パスワードをそのままクリプト便にも使えるため、エンドユーザはいったんActive Directoryサインオンすれば、あとはシームレスにクリプト便のファイル転送サービスを利用できるようになります。また旧サービスの時のように、ファイル転送サービス独自のID／パスワードを手作業で発行していた手間が一気になくなり、運用の負荷も大幅に軽減できました。

※本文中の組織名、職名、概要図は公開当時のものです。

住友生命保険相互会社 様

あなたの未来を強くする



企業名	住友生命保険相互会社
業界	金融
取り組んだ課題	- 顧客情報の交換手段の電子化 - 厳重なセキュリティによる情報漏洩リスクの最小化



法人総合サービス部
法人サービス企画室（当時）
部長代理
矢野 克博 氏



情報システム部
システム業務室（当時）
副長
森岡 篤志 氏

FD、MO、CMTなどの電子媒体による データ授受をよりセキュアな環境へ移行

住友生命では「団体保険」や「企業年金保険」の業務において、被保険者の異動・保険料・配当金などの顧客情報を含む各種データのやりとりを日常的に行っています。こうした情報の受け渡しに、これまではFD、MO、CMTといった電子媒体が用いられてきました。しかし近年、セキュリティや業務効率の観点から、電子メールなどを使ったファイル交換への関心が高まってきていました。

そこで、金融機関として求められる非常に厳格なセキュリティポリシーを担保できるかどうかを実地検査も含めて入念に確認した結果、クリプト便は不正アクセスや誤送信の防止の十分な機能を提供していると評価して、採用を決定しました。

クローズドグループ、承認機能を利用して 誤送信リスクの極小化に成功

同社ではお客さまと自社の担当者だけで構成されたクローズドグループを作成し、貴重なデータの誤送信リスクを極小化する仕組みづくりに成功しました。

さらに上長の事前承認を必要とする承認機能も利用しています。「この上長による承認の規則は、当社から社外にメール送信する際のルールですが、これをクリプト便に実装できたことで、当社の規定に準じた十分なセキュリティレベルを担保することが可能になりました。」（森岡氏） また、高度なセキュリティレベルを維持するために、同社では利用ルールをマニュアル化しデータ送受信の手順を始め細部にわたって明確に規定することで厳格な運用を実現しています。

※本文中の組織名、職名、概要図は公開当時のものです。

三菱鉛筆株式会社 様



企業名	三菱鉛筆株式会社
業界	製造業
取り組んだ課題	・ 大容量デザインデータの送受信の効率化・安全性確保 ・ メールの不確実性・情報流出リスクからの脱却



情報システム部
坂本 氏



物流統括部
木村 氏

業務のスピードアップを実現し、 デザインの製作日数を大幅に短縮

三菱鉛筆では、安全かつ確実なデータの送受信を行うため、デザイン入れのワークフローに「クリプト便」を活用しています。大容量データには郵送などの手段を用いてやり取りしていたため、1つの工程をこなすのに数日かかることもありましたが、「クリプト便」を利用することで、その日のうちに作業が完了し、業務スピードが大幅にアップしています。

メールの不確実さが抱かせた危機感

同社では、需要が多い筆記具のデザイン入れ業務のワークフローを数年前から改善。イラストや写真、オリジナルロゴなどのデザイン入れ業務を流通工程のひとつに組み入れています。デザイン製作の際、加工部門と様々なやり取りをしながら製作しており、以前はメール添付や、媒体にコピーをしてやり取りを実施していましたが、メールの不確実さへの不安、外部への情報流出の懸念、媒体へのコピーにかかる手間とコスト、などの問題からクリプト便を検討し利用を開始しました。物流部門でクリプト便の利用を開始して以来、クリプト便の高い信頼性と利便性を評価され、現在では日常業務に欠かせない不可欠のツールになっています。

※本文中の組織名、職名、概要図は公開当時のものです。

株式会社東急百貨店 様



企業名	株式会社東急百貨店
業界	小売業
取り組んだ課題	- 膨大な顧客情報の管理・送信のためのセキュアな仕組みの構築 - 自社開発によるコスト増の回避



“セキュリティとコストを両立させる為の選択

導入担当者： MD企画部 MD計画部 EC推進担当課長 吉田 彰宏 氏

東急百貨店のインターネット通販では、2010年のお中元より、お客様からお届け先データをお預かりして代行登録するサービスを開始しました。このサービスを提供するにあたり、安心してデータを渡せるシステムが不可欠です。しかし、社内システム構築ではコストがかかり過ぎてしまい、セキュアな環境はないかと調べたところ情報システム部が先に導入していたクリプト便へ辿りつき、知名度とブランド力から導入し利用を開始しました。

“個人顧客の10倍以上もある法人データを、安心・確実に授受しています

お申込頂いたお客様の大半は法人のお客様。成長中のIT関連企業を始めとした新規オーダーがあり、送付先のデータは個人のお客様の10倍から100倍と、クリプト便を活用した新サービスに可能性を感じています。

情報漏えい対策の一環として、無料のファイル交換サービスへのアクセスを制限、またUSBメモリなどの外部記憶媒体などへのデータの書き出しを禁止しており、高いセキュリティレベルを確保している一方で、外部との大容量ファイルの授受に手間がかかっているのが現状です。今後は外部記憶媒体使用の代替として「クリプト便」を活用できるのではないかと考えています。

※本文中の組織名、職名、概要図は公開当時のものです。

アフラック生命保険株式会社 様



企業名	アフラック生命保険株式会社
業界	金融業
取り組んだ課題	- 個人情報保護法を契機とした個人情報取り扱いのセキュリティレベル強化 - 物理媒体からの脱却による作業負荷軽減



IT業務部 IT業務課
副主任
諸橋 隆人 氏



IT業務部 IT業務課
副主任
山下 三歩 氏

“クリプト便への移行で情報漏えいのリスクとメディア管理の負荷を極小化

2005年の個人情報保護法を契機に、アフラックの媒体取扱基準が格段に厳しくなったこともあり、本格的なセキュリティを備えた伝送サービスの導入を検討。情報セキュリティ強化はもちろんの事、社内作業負荷を軽減し効率化を図るといった目的でもサービスを検討していました。

クリプト便を採択した理由としては、保険会社に必要なセキュリティレベルを満たしている事と、日常業務における使い勝手の良さの2つ。加えて、他社での採用実績やブランドの信頼性も安心してサービスを利用できる理由の一つです。

“データ暗号化と独自のメール管理機能で重要データをセキュアに一元管理

クリプト便導入後、物理媒体の紛失や盗難による情報漏えいのリスクは大幅に減少し、ファイル添付を行う場合もクリプト便によって自動的に暗号化が行われるため、人為的ミスも根絶されました。また文書をあちこちに散在させることなく、常に一元管理できるメリットは非常に大きいと思います。

リアルタイムで送受信が確認できるため、業務の効率化や伝送結果の可視化といった面で改善効果を感じる事もでき、誤送信防止に大いに役立っています。管理部門としては、会社公認のサービスとしてアナウンスすることで、個別の要望に対応する負担がなくなりました。セキュアな伝送手段の枠組みに取り込む上でも最適なサービスです。

※本文中の組織名、職名、概要図は公開当時のものです。

第一生命カードサービス株式会社 様

一生運のパートナー

第一生命

第一生命カードサービス株式会社

企業名	第一生命カードサービス株式会社
業界	金融業
取り組んだ課題	- 個人情報取り扱いのセキュリティレベル強化 - 物理媒体からの脱却によるコスト・作業負荷の軽減



第一生命カードサービス
株式会社
木宮 睦仁 氏



第一生命情報システム
株式会社
廣澤 東 氏

“大手保険会社での導入実績を評価し オートパイロットでファイル送受信を自動化

第一生命カードサービスではこれまで物理媒体を利用して個人情報を含むファイルをやりとりしていましたが、よりセキュリティを高めるためシステム導入を検討していました。その際、第一生命情報システムから提案されたサービスがクリプト便オートパイロットオプションでした。

「大手保険会社で使われているのを知り精査した結果、十分な機能を備えていることがわかり、同じ仕組みで利用できないかと思ったのです」（廣澤氏）

「物理メディアの授受に付随して発生していた多くの人的作業や工程を効率化し、省力化とコスト削減を図るねらいもありました。その点でもクリプト便は期待できると感じたのです」（木宮氏）

“導入・運用コストの大幅カットと業務効率化 さらにインシデントの抑止効果も

クリプト便を導入した結果、書留を利用した場合に増加する予定だった年間約480万円の郵送費を大幅に抑えられ、さらに物理メディアの管理も不要になったことで年間200万円のコスト圧縮が実現しました。さらに郵送に比べてデータ到着までの日数も1～2日短縮することが出来、作業自体もスピードアップしています。

また業務システムとクリプト便を連携してファイルを直接クリプト便で自動送受信することで、従来に比べ送受信の作業効率も大幅にアップしています。

「クリプト便導入により、物理メディアであるがゆえに発生していたインシデントが減少して、システム運用の間接コストと担当者の心理的な負担の抑制につながっています」（廣澤氏）

Appendix

ユーザ体系詳細（「送受信」「ファイル共有」共通）

- クリプト便では、主に自社従業員を登録する「社内ユーザ」、社外利用者の登録に向いている「社外ユーザ」が選択可能です。また、ID登録をしない「ゲストユーザ」としてファイルを取得することができます。
- ユーザによって使用できる機能や、所属出来るグループが異なります。

ユーザ種類	使用できるID			所属可能グループ		標準機能対応		オプション機能対応			
	メールアドレス	ランダム	別名	オープン	クローズ	グローバルIP アドレス制限	ファイルPW 自動生成	承認機能	認証連携	端末認証	ファイル共有
 社内ユーザ 標準的なユーザ	○ ※自社ドメインのみ使用可能	○	○ ※ID領域の予約は出来ません	○	○	○	○	 ○ ※承認者として指定可能	○	○ ※ユーザ毎に適用有無を設定可能	 ○ ※ボックス管理者として指定可能
 社外ユーザ 社内ユーザに比べ制限のあるユーザ	-	○	○ ※ID領域の予約は出来ません	-	○ ※社内ユーザにのみ送信可能	○	○	 ○ ※共有のみ承認者として指定可能	-	○ ※ユーザ毎に適用有無を設定可能	○
 ゲストユーザ IDを保有していない、一次利用のユーザ	-	-	-	△ ※ワンタイムURLにて受信可。返信も可	-	-	○	-	-	○ ※端末証明書のインストールが必要 なため運用困難	○ ※ゲストユーザアカウント登録が必要
備考	メールアドレスをIDとします。他社ドメインは登録できません。	システムが発行したランダム値で登録します。	基本のIDに加え、自由なIDを設定可能です。ただし、同一IDがあると登録できません。	送信先はメールアドレスを入力し、送信することが出来るグループです。	同じグループに所属するユーザのみ送信できるグループです。		貴社パスワードポリシーを満たす形で、ファイルパスワードを自動生成する機能です。	送信・共有に対して承認が出来ます。	AD等を利用したシングルサインオンを行うことが可能です。	アクセスを端末レベルで制御することが出来ます。	

クリプト便のログ閲覧範囲・閲覧可能期間

クリプト便のログは、ID種別や権限によって閲覧範囲・閲覧可能期間が異なります。

- ※1 承認機能のオプション契約が必要です。
- ※2 グループ毎 送信ログ監査のオプション契約が必要です。
- ※3 ファイル共有のオプション契約が必要です。
- ※4 延長ご希望の場合はご相談ください。
- ※5 ログ保存日数延長オプションでの期間延長が可能です。
- ※6 送信ファイルアーカイブのオプション契約が必要です。
- ※7 管理者操作ログオプションでの期間延長が可能です。
- ※8 各種ログの保存期間に準じます。

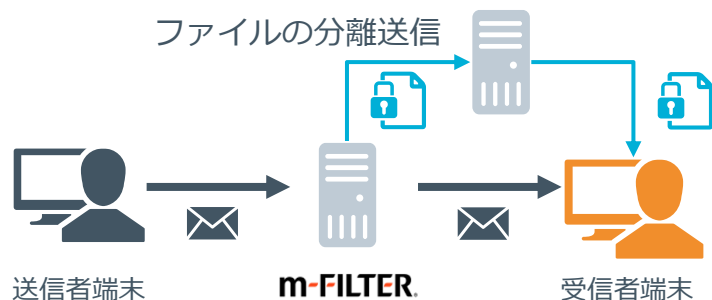
ID種別や権限によるログの取得範囲・取得期間の比較表						
閲覧者			一般ユーザ	承認者※1	グループ監査者※2	セクション管理者
種別			ユーザID	ユーザID	ユーザID	管理者ID
閲覧範囲			自身の送受信／共有履歴	所属グループの社内ユーザ	所属グループ	セクション全体
送受信	送信ログ	ログ閲覧	○	○	○	○
		期間	184日	184日	184日※4	184日～※5
	受信ログ	ログ閲覧	○	—	—	○
		期間	184日	—	—	184日～※5
	取得情報ログ	ログ閲覧	—	—	—	○
		期間	—	—	—	62日～※5
	送信ファイル原本	ログ閲覧	○	○	○※6	○※6
		期間	20MB以下：最大25日 20MB以上：最大7日	62日	184日※4	184日～※5
共有※3	ファイルログ	ログ閲覧	—	—	—	○
		期間	—	—	—	62日～※5
	ファイル原本	ログ閲覧	○	○	—	○※6
		期間	期間の定めなし	承認時	—	62日～※5
ボックスログ	ログ閲覧	—	—	—	○	
	期間	—	—	—	62日～※7	
管理者操作ログ		ログ閲覧	—	—	—	○
		期間	—	—	—	62日～※7
ログイン関連ログ		ログ閲覧	—	—	—	○
		期間	—	—	—	62日～※5
CSV取得		ログ取得	—	—	—	○
		期間	—	—	—	※8

その他のお取り扱いソリューション

クリプト便以外にも企業間のファイル交換を支えるツールをご用意しております。貴社に最適なツールをご提案します。



通常メールによる ファイル送付をより安全に



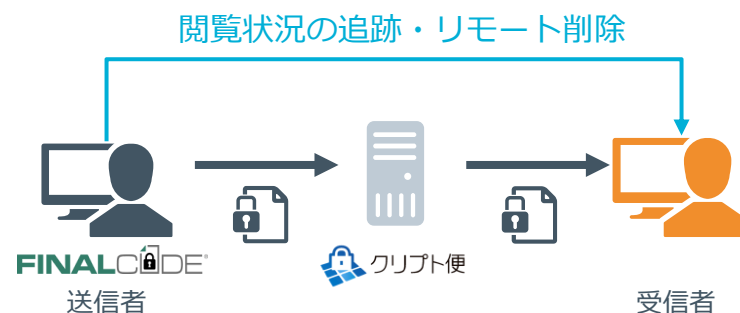
通常メールの添付ファイルを自動的に分離

ファイルのみクリプト便サーバ経由で送信

受信者は通知メールのURLよりダウンロード



手元を離れたファイルの 追跡・削除



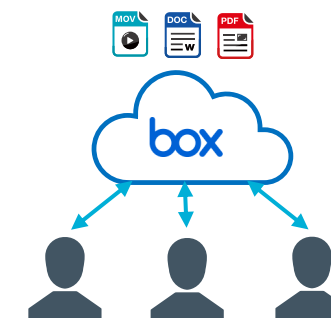
Finalコードで暗号化したファイルを追跡

いつ誰が閲覧したかを追跡可能

送付したファイルをリモートで削除可能



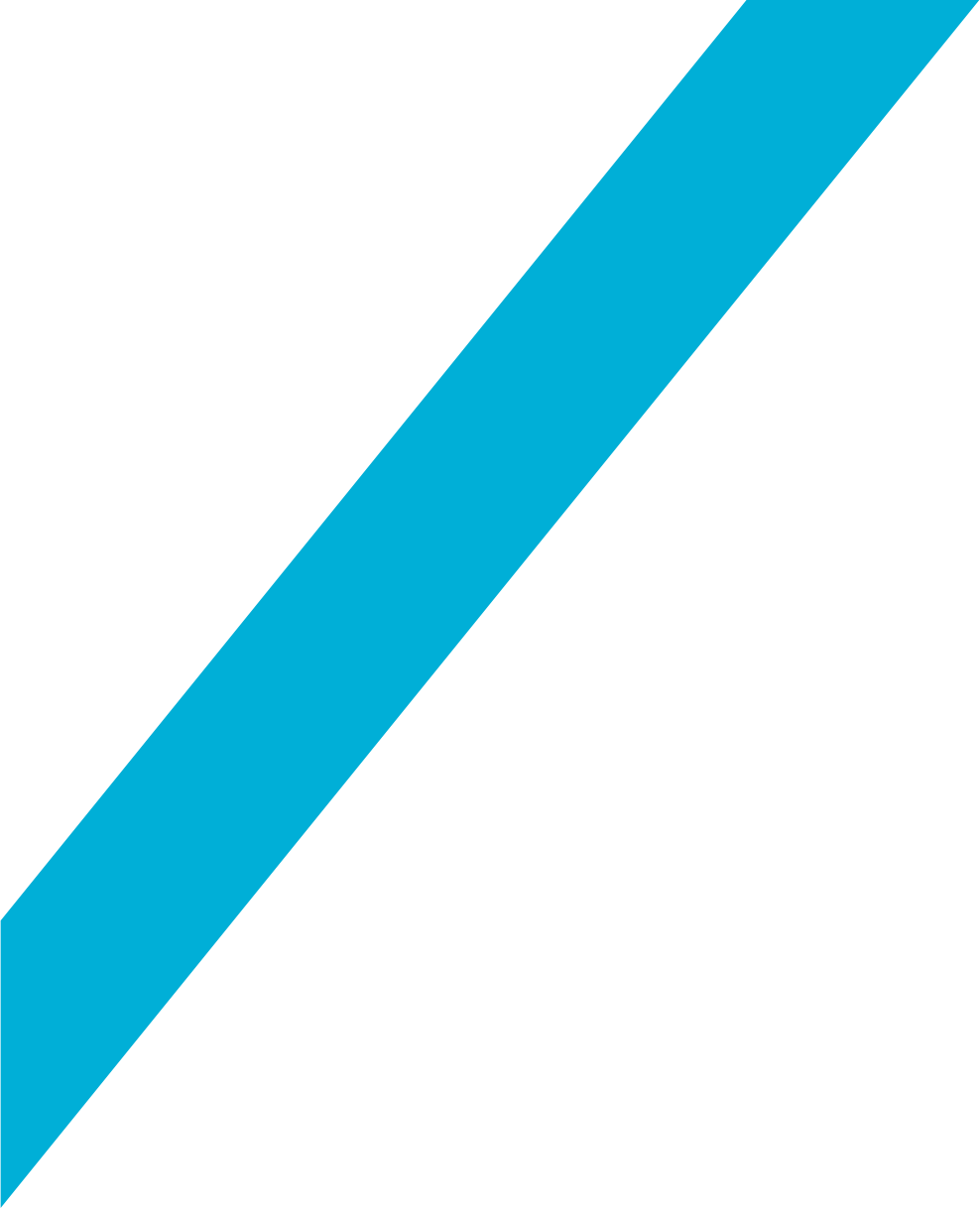
社外関係者との 大容量・長期のファイル交換



利便性重視のファイル交換に最適

ディスク容量を気にせずに利用可能

マルチデバイス対応で様々な場面で利用可能



/NRI SECURE/